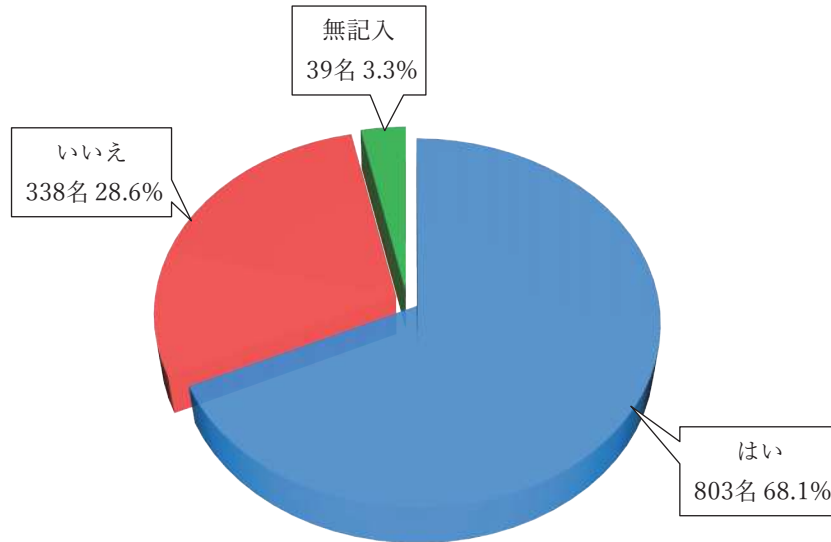


第4章 結果の概要

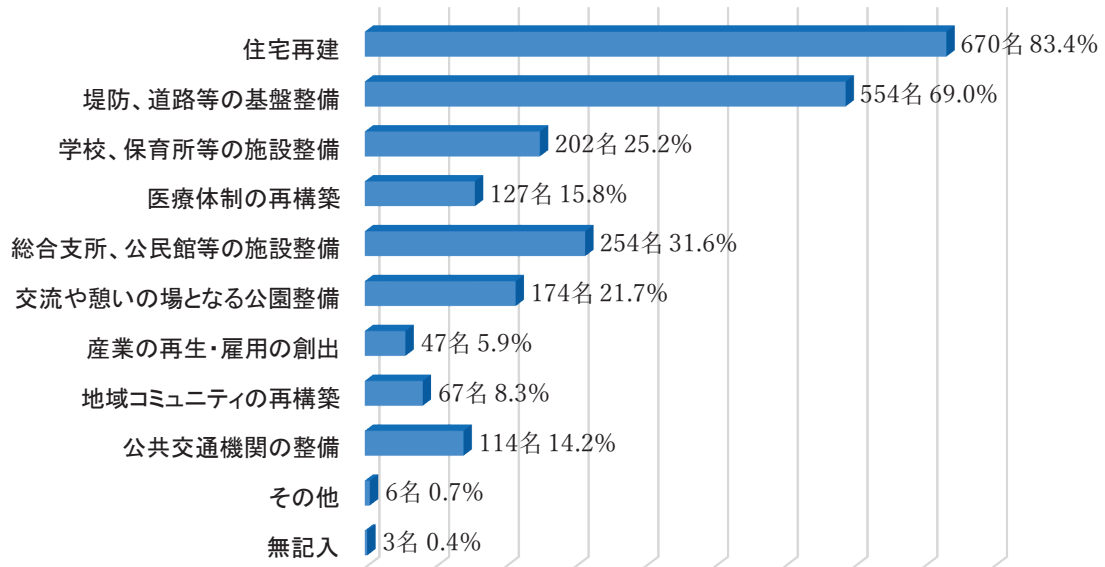
※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

1 東日本大震災に伴う復旧・復興事業について

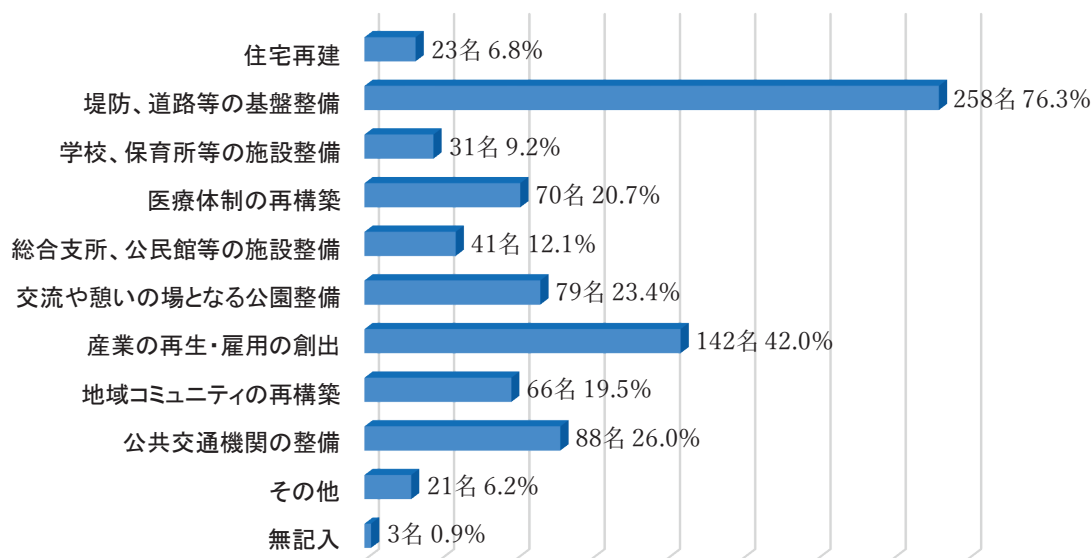
問1 石巻市の復旧・復興は、進んでいると感じていますか。1つ選んでください。



問2 問1で「1. はい」と答えた方にお聞きします。
進んでいると感じている主な事業は何ですか。
当てはまるものを全て選んでください。



問3 問1で「2. いいえ」と答えた方にお聞きします。
遅れていると感じている主な事業は何ですか。
当てはまるものを全て選んでください。



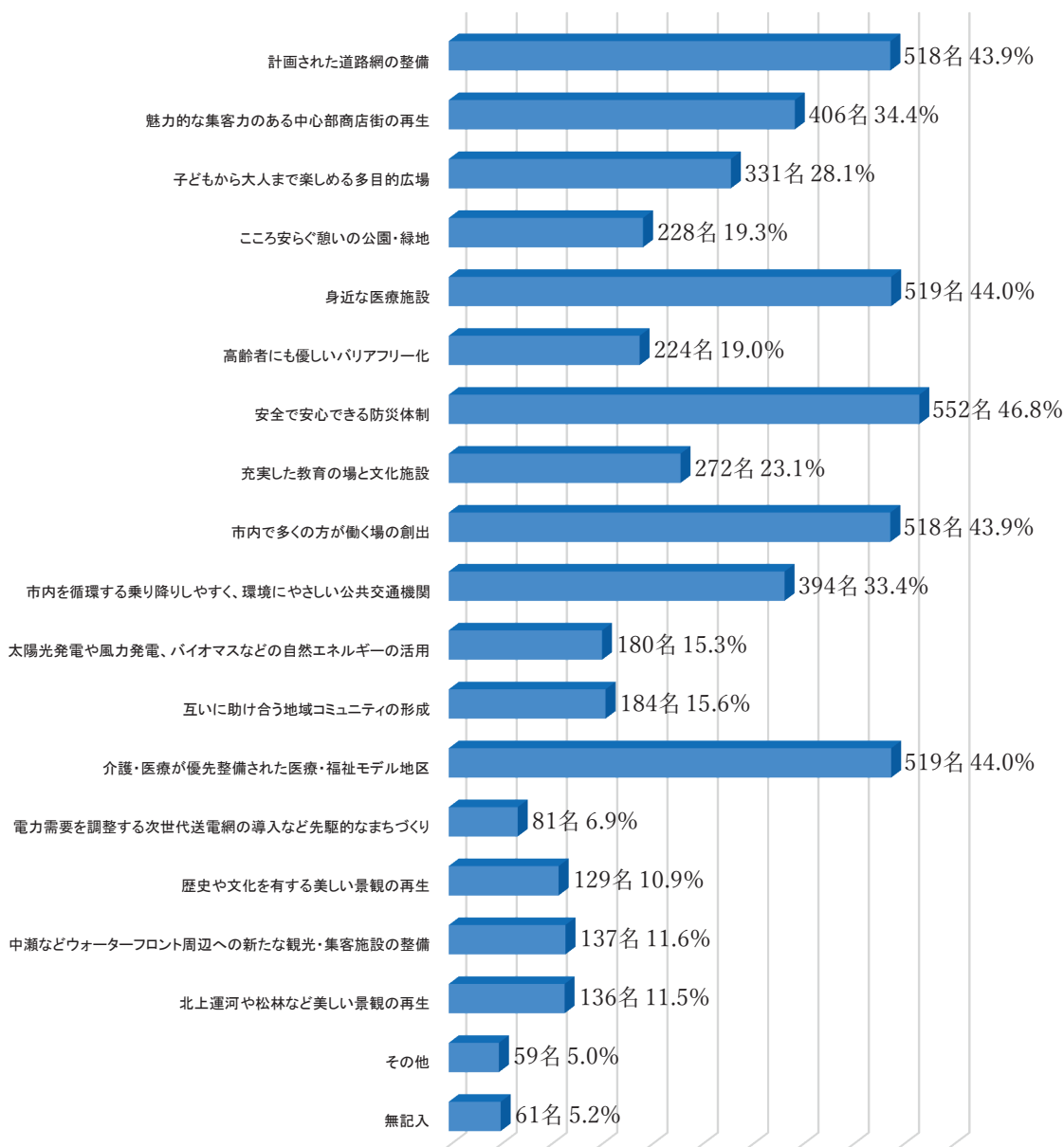
復旧・復興が「進んでいる」と回答した方が、前回調査より1.8ポイント増加し、「進んでいない」と回答した方は、前回調査より2.3ポイント減少しました。

進んでいると感じている主な理由としては「住宅再建」を挙げる方が多く、遅れていると感じている割合も減少していることから、住宅再建の進展を感じている方が多いことがうかがえます。

次に進んでいると感じている事業は「堤防、道路等の基盤整備」となっていますが、遅れていると感じている事業においても高い割合を占めています。「産業の再生・雇用の創出」についても、遅れていると感じている割合が高くなっています。

今後も、基盤整備について、国、県等と調整を図りながら事業の円滑な推進に努めるとともに、整備した施設等を適切に管理、効果的に活用し、本市の持続的発展に向けた産業の再生・雇用の創出に一層取り組んでいく必要があると考えます。

問4 石巻市の将来の再生・発展のために望むまちづくりについてお聞きします。
特に重要と思うものを5つ選んでください。



将来の再生・発展のために望むまちづくりについては、「安全で安心できる防災体制」「身近な医療施設」「介護・医療が優先整備された医療・福祉モデル地区」「計画された道路網の整備」「市内で多くの方が働く場の創出」を望む声が多く、今後のまちづくりにおいて、防災・道路・雇用・医療・福祉が重要と考えられていることがうかがえます。

特に一番割合の高かった「安全で安心できる防災体制」は、昨年度と比較すると11.7ポイント増加し、昨今、全国的に発生している暴風雨や洪水などの水災害等がポイントを押し上げたと考えられます。

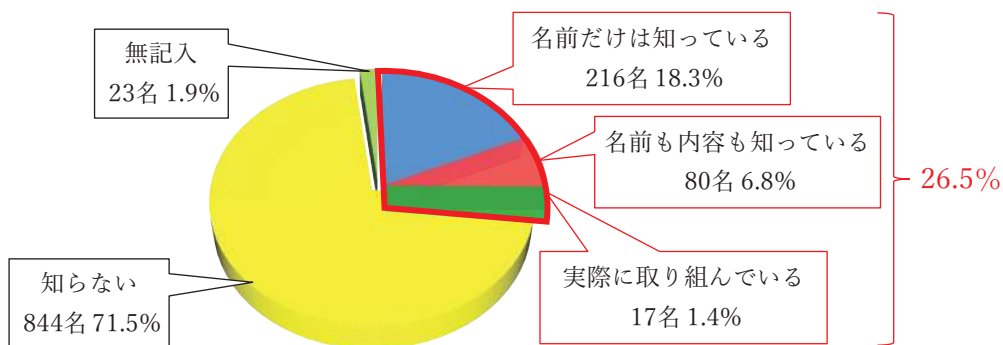
自由記入欄では、雨水排水対策、中心市街地以外のまちづくり及び公共交通に関する要望や、子育て支援の充実を望む声が多くありました。

2 エスティーゼエス SDGs（持続可能な開発目標）について

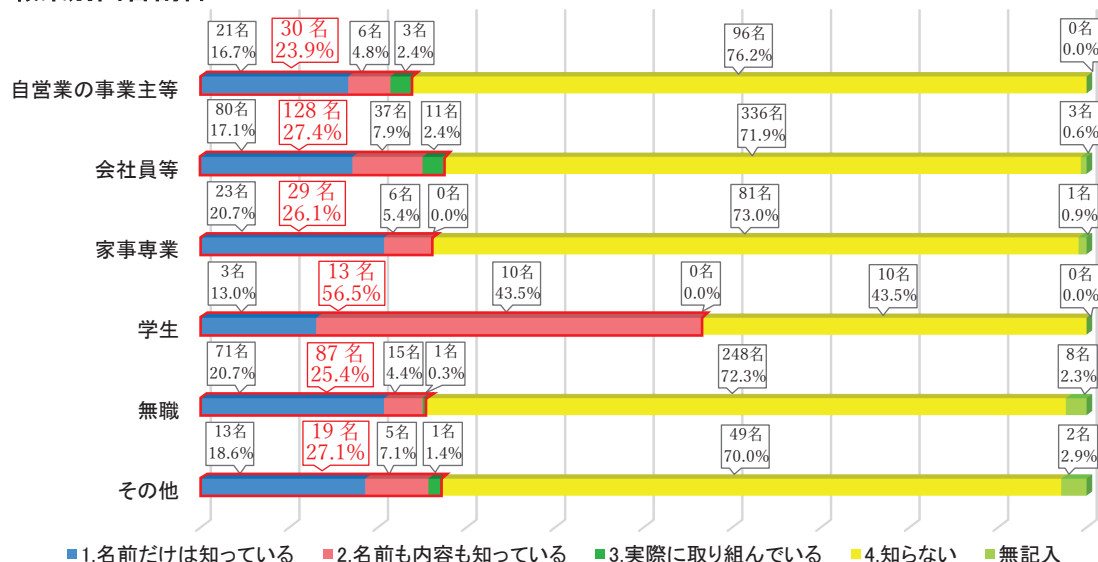
問5 市は、SDGs（持続可能な開発目標）を推進しており、普及啓発などの取り組みを進めています。

「SDGs」という言葉を知っていますか。1つ選んでください。

◆総計



◆職業別回答割合



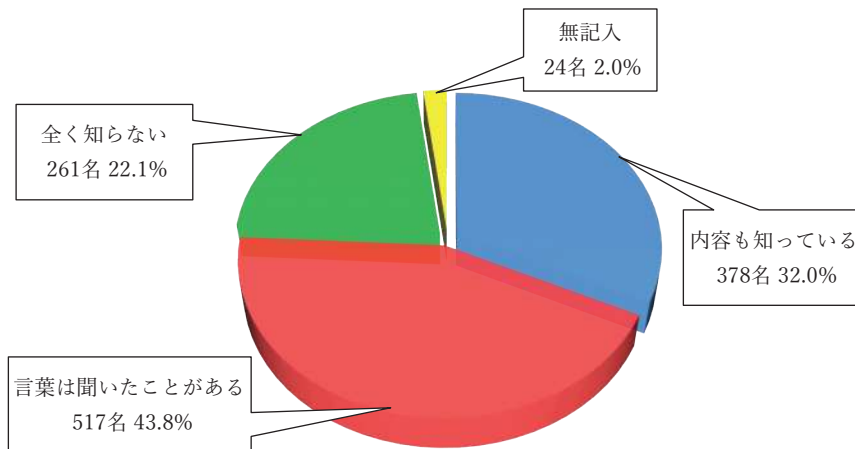
SDGsという言葉を「名前だけは知っている」が18.3%（前年比3.5ポイント増）、「名前も内容も知っている」が6.8%（前年比2.9ポイント増）、「実際に取り組んでいる」が1.4%（前年比1.0ポイント増）となっており、3項目の合計は26.5%（前年比7.4ポイント増）となり、認知度の向上が見られました。

職業別の回答割合では、3項目の合計について「学生」が56.5%で前年比12.7ポイント増、「家事専業」が26.1%で前年比11.4ポイント増となっており、前年からの認知度向上が大きくなっています。これは、学校教育におけるSDGs学習の推進、本年7月に市がSDGs未来都市に選定されたこと及び市報などによる普及啓発の取り組みの効果などによるものと考えられます。

しかし、「実際に取り組んでいる」については、「自営業の事業主等」及び「会社員等」が共に2.4%であるのに対し、「家事専業」及び「学生」はいずれも0%となっていることから、SDGsは日常生活の中で誰でも取り組めるものであることなどを含め、より一層普及啓発に努める必要があることが分かりました。

3 男女共同参画について

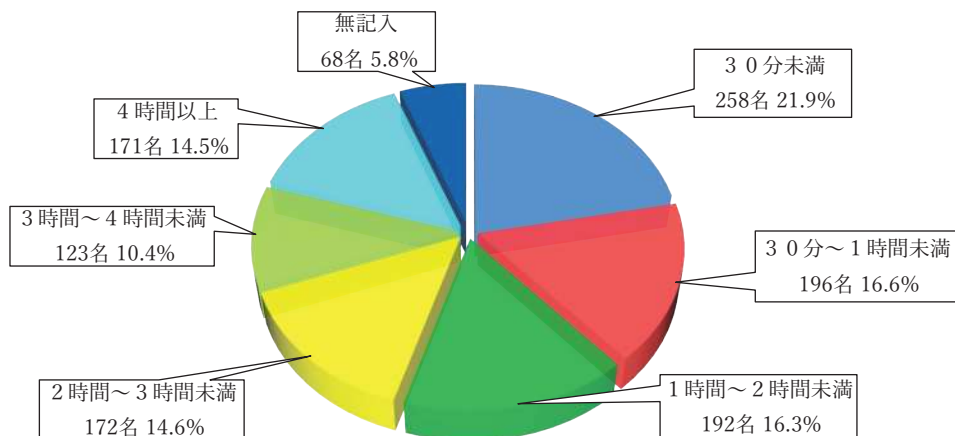
問6 あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)



「男女共同参画社会」という言葉の認知度は、「言葉は聞いたことがある」が43.8%と最も多く、「内容も知っている」と合わせた認知度は、75.8%となっています。

しかし、「全く知らない」と回答した方も22.1%となっているため、今後もさらに啓発に努めていく必要があると考えます。

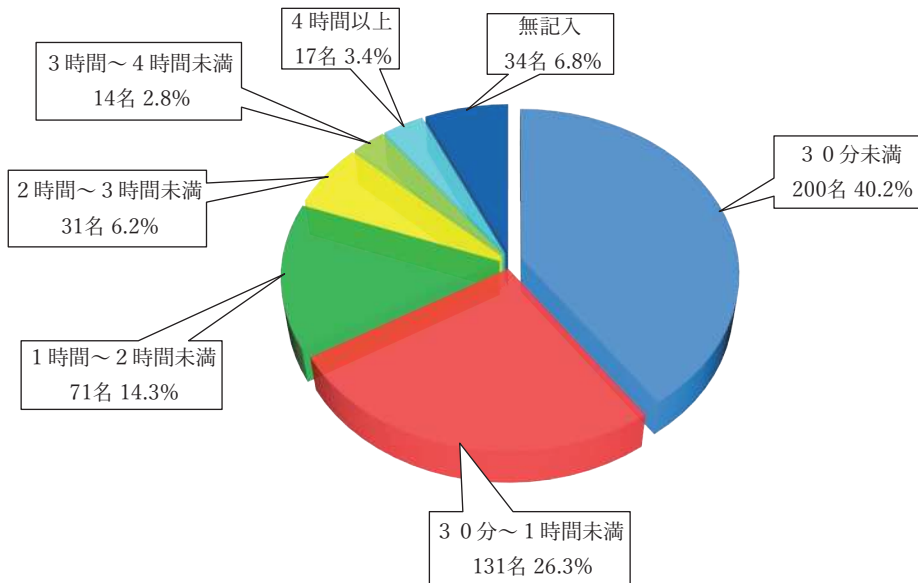
問7 あなたの1日の家事（介護・看護・育児含む）時間はどのくらいですか。(〇は1つ)



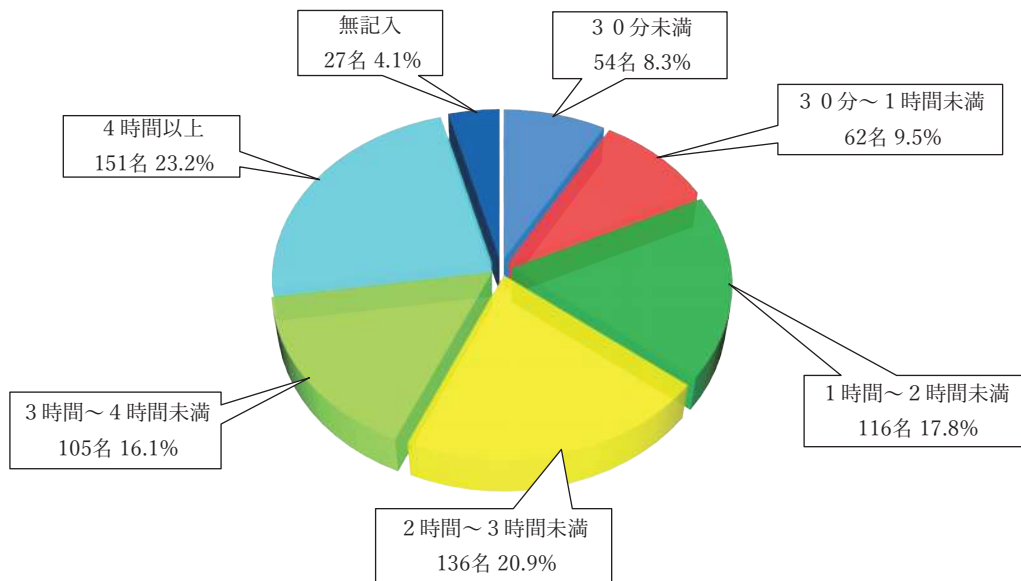
30分未満が21.9%と高くなっていますが、4時間以上と回答した人は14.5%となっており、多くの選択肢で10%台となっていることから、個人差が大きいことがうかがえます。

【男女別】

男性

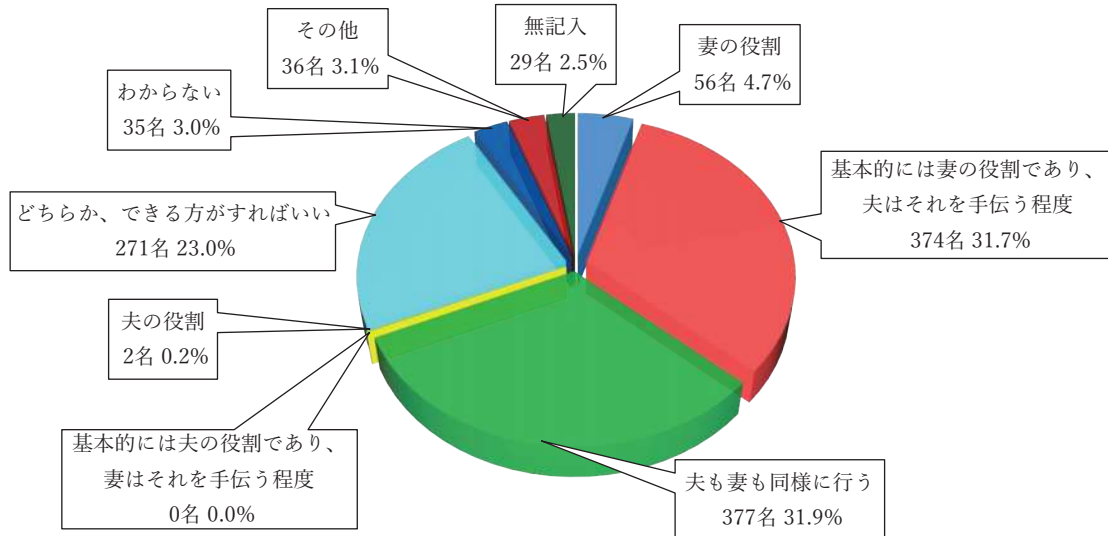


女性



1時間未満の女性が17.8%なのに対し、男性は66.5%となっています。逆に、3時間以上の家事時間を見ると、女性が39.3%なのに対し、男性は6.2%と非常に偏っています。この結果から、家事時間については、いまだに女性の方が長いことがうかがえます。

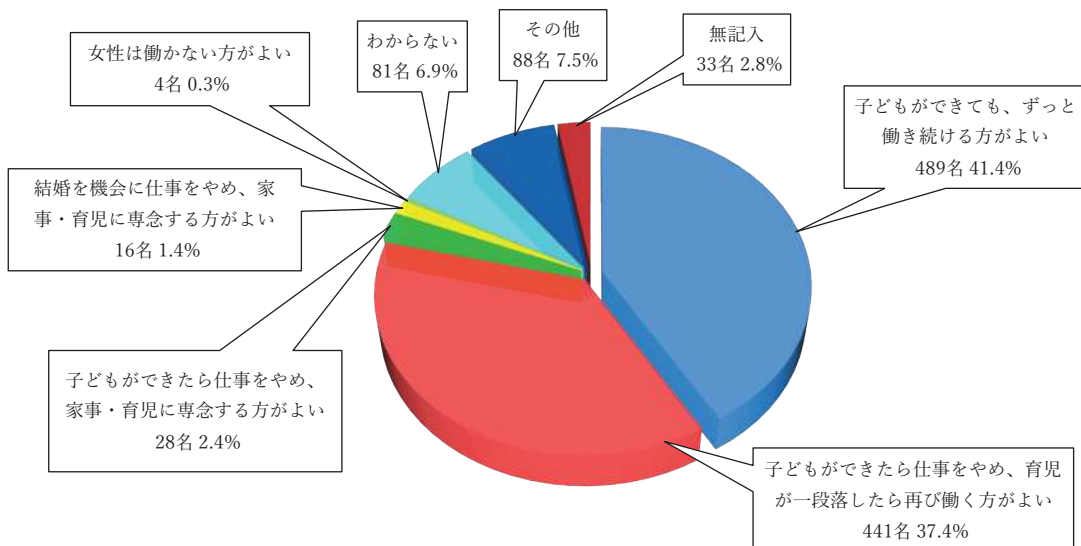
問8 家庭での育児や家事は、誰の役割だと思いますか。(〇は1つ)



家庭での育児や家事の役割は、「夫も妻も同様にを行う」と回答した方が31.9%と僅差であるものの最も多くなっています。

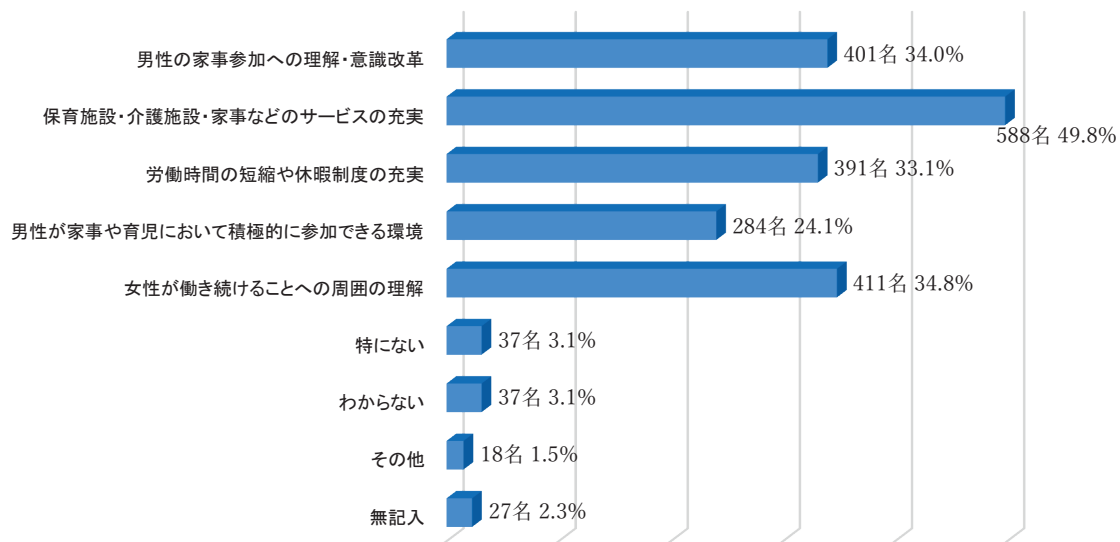
しかし、「妻の役割」「基本的には妻の役割であり、夫はそれを手伝う程度」を合わせると36.4%と、未だに固定的役割分担意識（男性・女性という性別を理由に役割を固定的に分けること。）が根強く残っていることがうかがえ、更なる固定的役割分担意識の解消に向けた意識醸成をする必要があると考えます。

問9 平成27年度に「女性活躍推進法」が施行され、石巻市でも女性活躍のための環境整備に向けて取組を実施しております。女性が働くことについて、あなたはどうお考えですか。(〇は1つ)



女性が働くことについては、「子どもができて、ずっと働き続ける方がよい」との回答が41.4%と最も多く、一方「子どもができたらずっと働き続ける方がよい」との回答も37.4%と、「子どもは母親が育てる方がよい」という意識が根強いことがうかがえます。

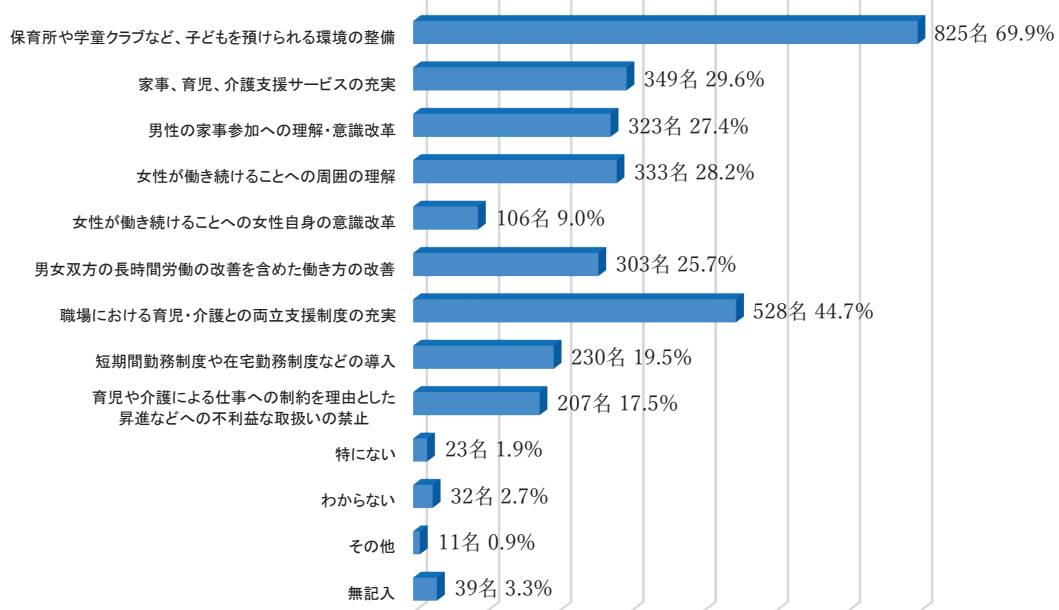
問10 女性の活躍を推進するためには、家族・社会・職場などからどのような支援が必要と考えますか。(特に当てはまると思うもの2つに○)



女性の活躍を推進するために必要なことは、「保育施設・介護施設・家事などのサービスの充実」の回答が49.8%と最も多く、女性が活動に費やせる時間を確保するためのサービスの必要性を感じていることがうかがえます。

また、「労働時間の短縮や休暇制度の充実」との回答が33.1%、「女性が働き続けることへの周囲の理解」との回答が34.8%であり、職場や家庭での意識改革が女性の活躍に繋がると考えられます。

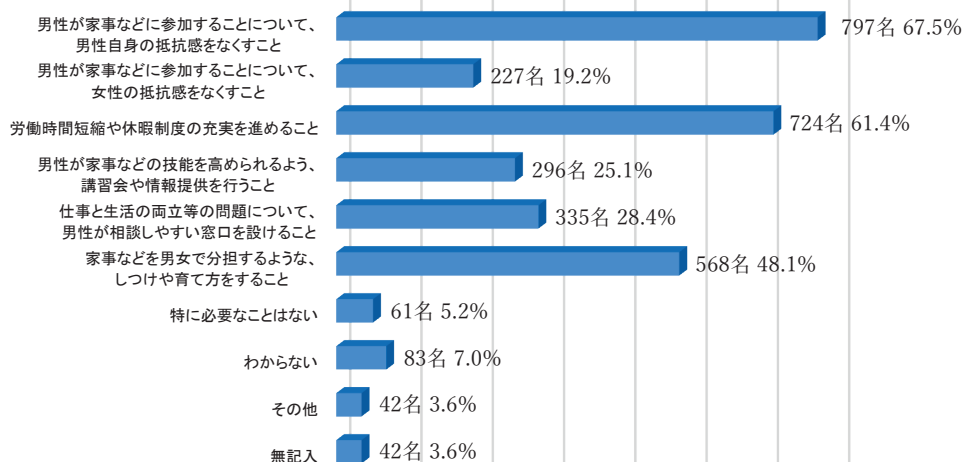
問11 あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。(当てはまるもの3つに○)



女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために必要なことは、「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」の回答が69.9%と最も多く、子育てにおける環境の整備を望んでいることがうかがえます。

また、「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」を求める回答も多くあり、子どもの保育環境の充実に加え、職場での育児と仕事の両立のための環境整備も求められていることがうかがえます。

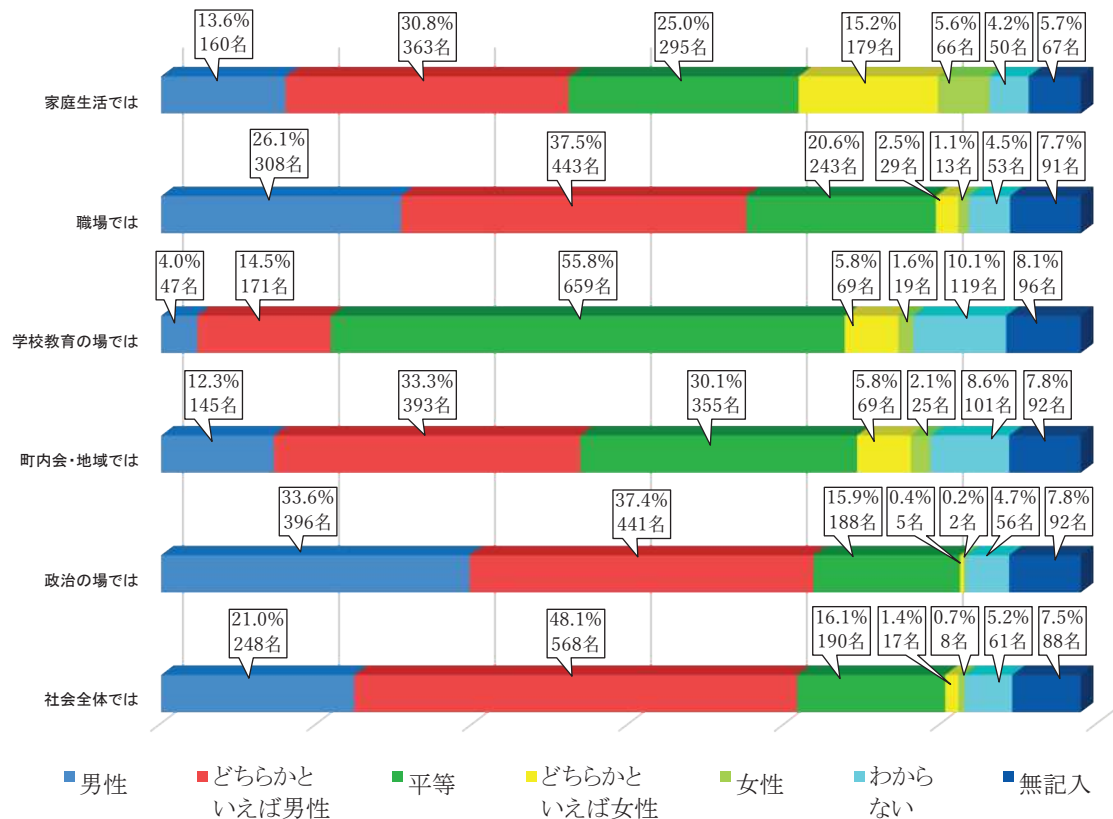
問12 あなたは今後、男性が家事・子育て・介護・地域活動などに積極的に参画していくためには、どのようなことが特に必要だと思いますか。(当てはまると思うもの3つに○)



男性が家事・子育てなどに積極的に参画していくためには、「男性自身の抵抗感をなくすこと」の回答が全体の67.5%と最も多くなっています。

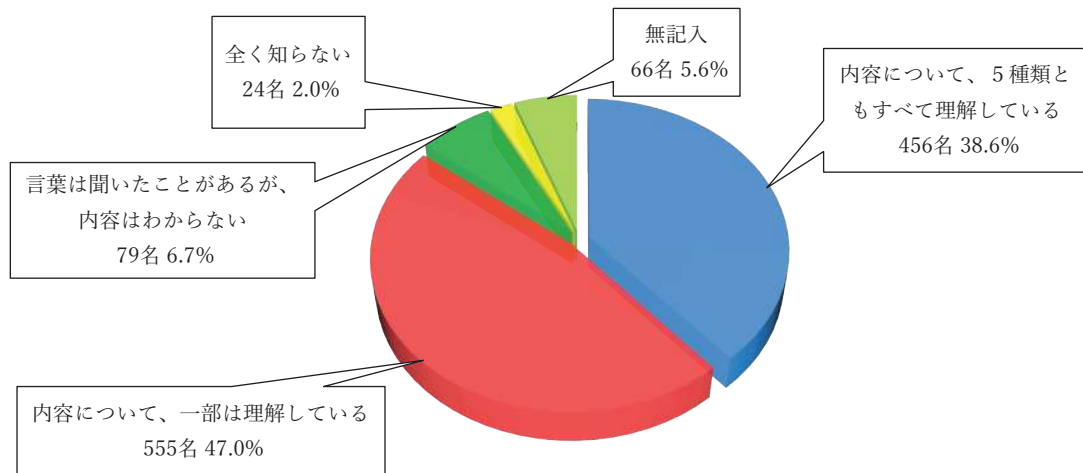
また、「労働時間短縮や休暇制度の進めること」も、61.4%と働き方に対する改革の必要性を感じていることがうかがえます。

問13 あなたは、男女の地位について、どちらが優遇されていると思いますか。ア～カのそれぞれについてお答えください。（それぞれ〇は1つ）



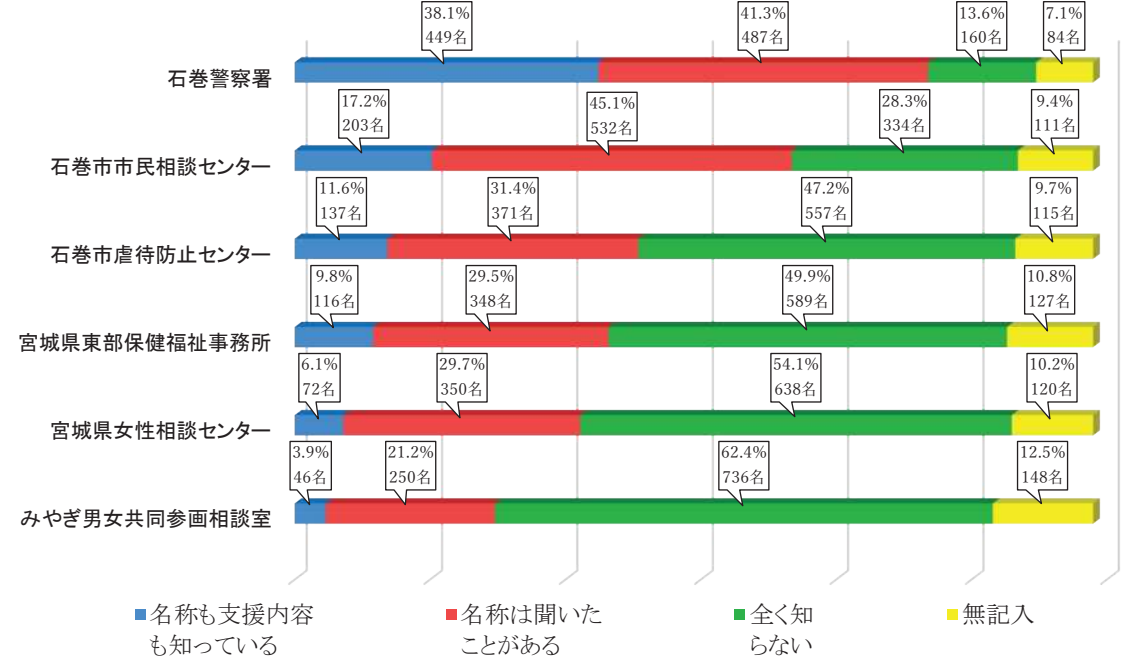
学校教育の場では、55.8%の人が男女の地位について「平等」と答えているものの、社会全体では69.1%の人が「男性」「どちらかといえば男性」が優遇されていると答えています。このことから、多くの人が、依然として男性優位の社会であるとの認識を持っています。

問14 あなたは、DV（配偶者等からの暴力）の内容について正しく理解していますか。
（〇は1つ）



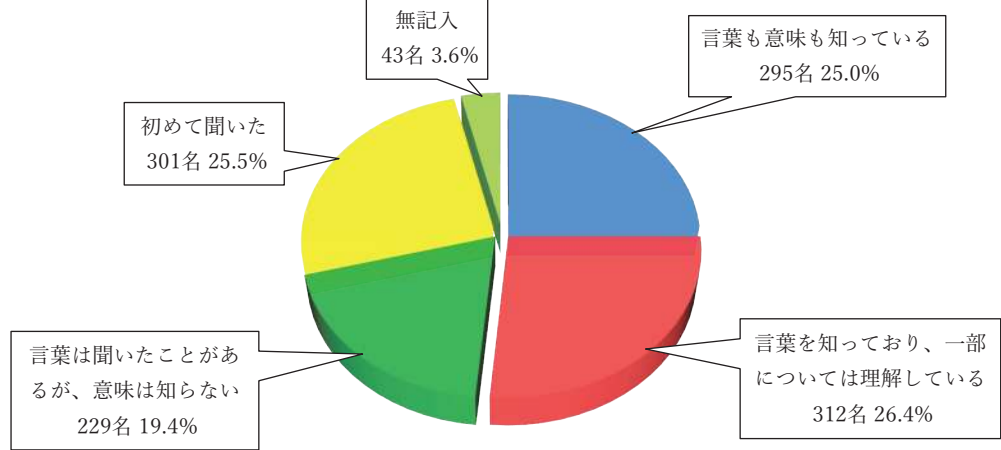
DV（ドメスティック・バイオレンス）について正しく理解しているかとの回答では、「5種類ともすべて理解している」が38.6%、「一部は理解している」が47.0%となっています。身体的暴力だけがDVではないことを、正しく理解していただくため、より一層の啓発に努める必要があると考えます。

問15 あなたは、セクシャル・ハラスメントまたはDV（配偶者等からの暴力）被害にあった時の相談窓口（ア～カ）を知っていますか。ア～カのそれぞれについてお答えください。（それぞれ○は1つ）



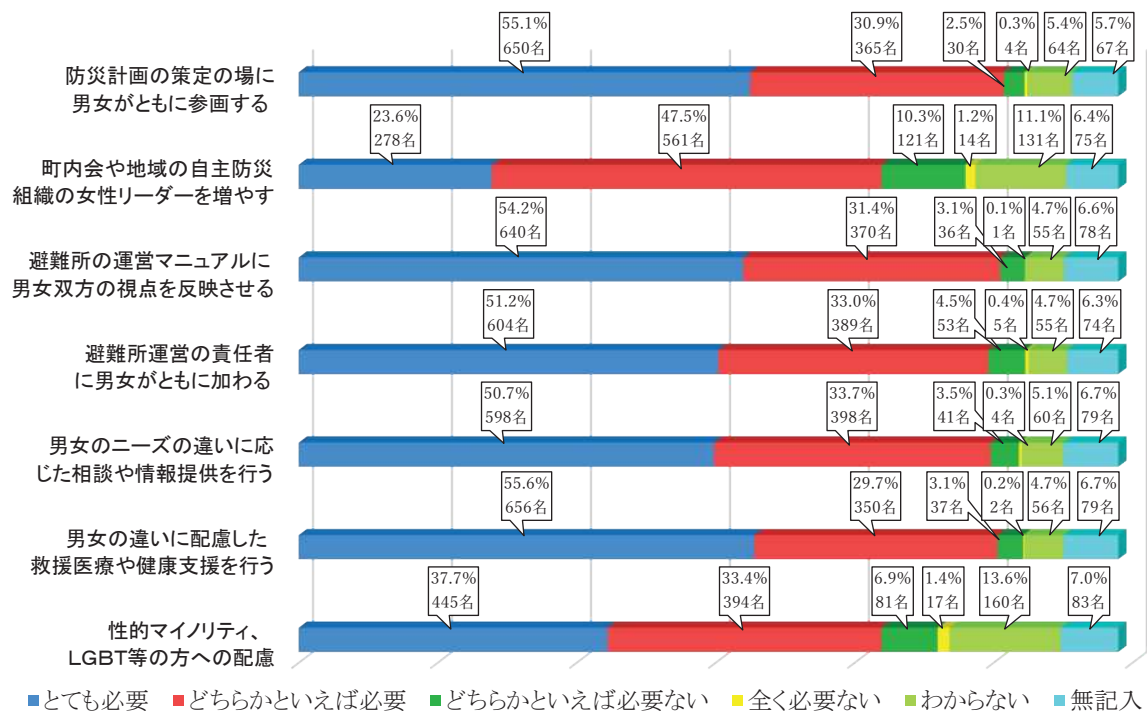
セクシャル・ハラスメントまたはDVの相談窓口の認知度は、身近にある石巻警察署でも「名称も支援内容も知っている」は38.1%となっています。
 また、石巻市市民相談センターは17.2%、石巻市虐待防止センターでは11.6%と、かなり認知度が低く、今後も相談窓口の周知徹底を図る必要があると考えます。

問16 「性的マイノリティ」「LGBT」という言葉を知っていますか。（○は1つ）



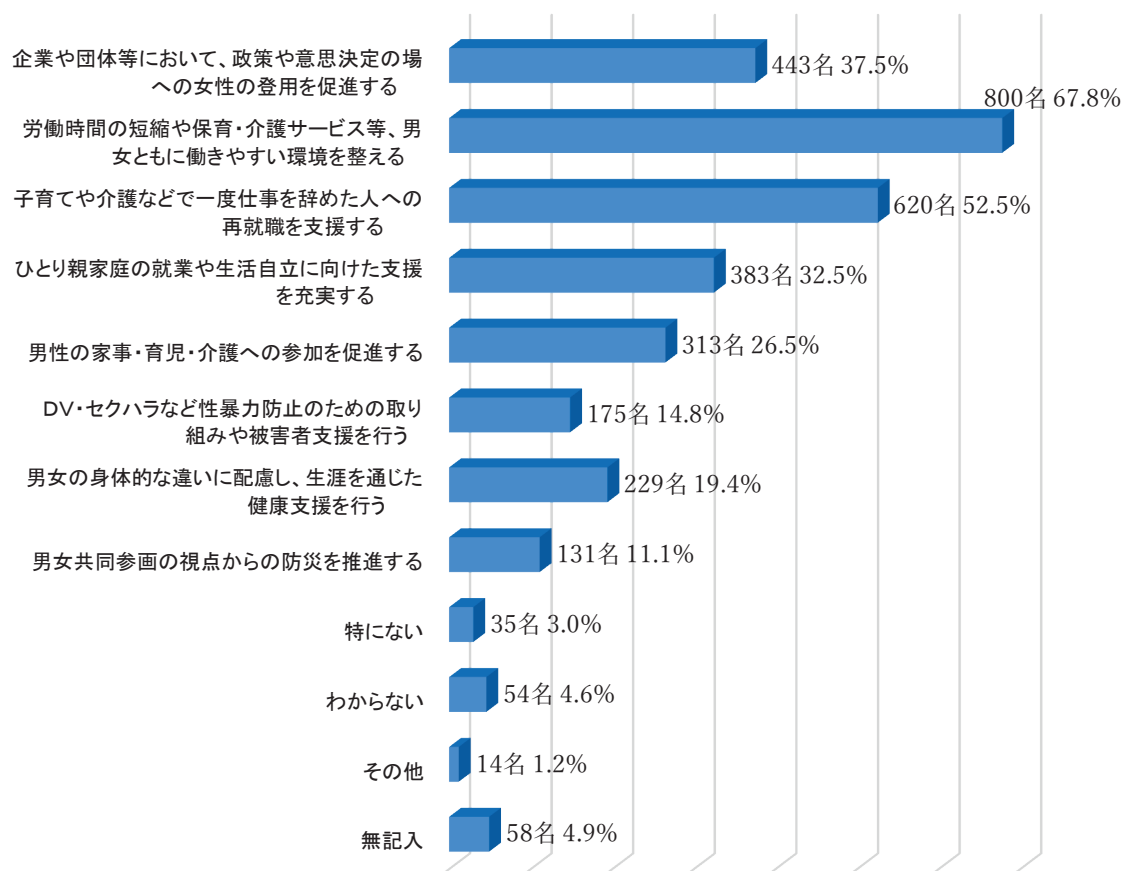
性的マイノリティやLGBTの認知度については、「言葉も意味も知っている」「言葉を知っており、一部については理解している」と答えた人が合わせて51.4%となっています。
 しかしながら、「初めて聞いた」と「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」とを合わせると44.9%となり、さらに理解を深めていくための啓発が必要であると考えます。

問17 今後の災害に備えて、性別に配慮した取り組みはどの程度必要だと思いますか。
ア～キのそれぞれについてお答えください。（それぞれ○は1つ）



すべての調査項目で「とても必要」「どちらかといえば必要」と答えた人を合わせると70%を超えていて、そのうち5項目では、85%前後の人が「とても必要」「どちらかといえば必要」と答えています。このことから今後の災害に備えて、多くの人が男女共同の観点からの取り組みの必要性を感じています。

問 18 男女共同参画社会を実現するために、今後、石巻市はどのようなことに特に力を入れていくべきだと思いますか。(特に必要だと思うもの3つに○)



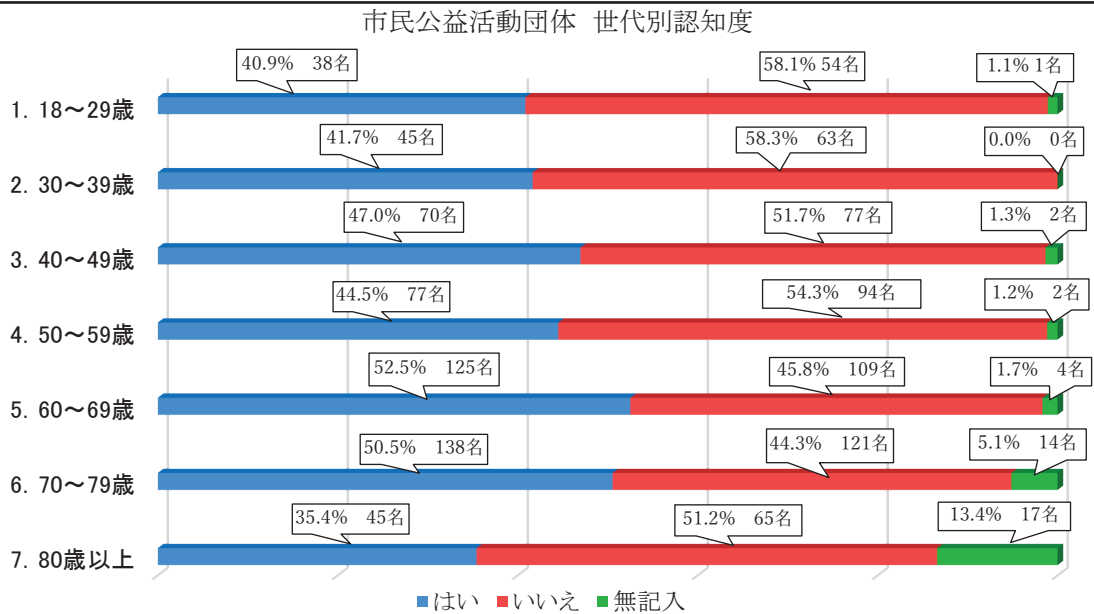
男女共同参画社会を実現するために、市が特に力を入れていくべきこととして、「労働時間の短縮や保育・介護サービスなど、男女ともに働きやすい環境を整える」が67.8%と、高い数値となっています。

また、「子育てや介護などで一度仕事を辞めた人への再就職を支援する」と答えた人も52.5%となっていることから、再就職への意欲が強いことがうかがえます。

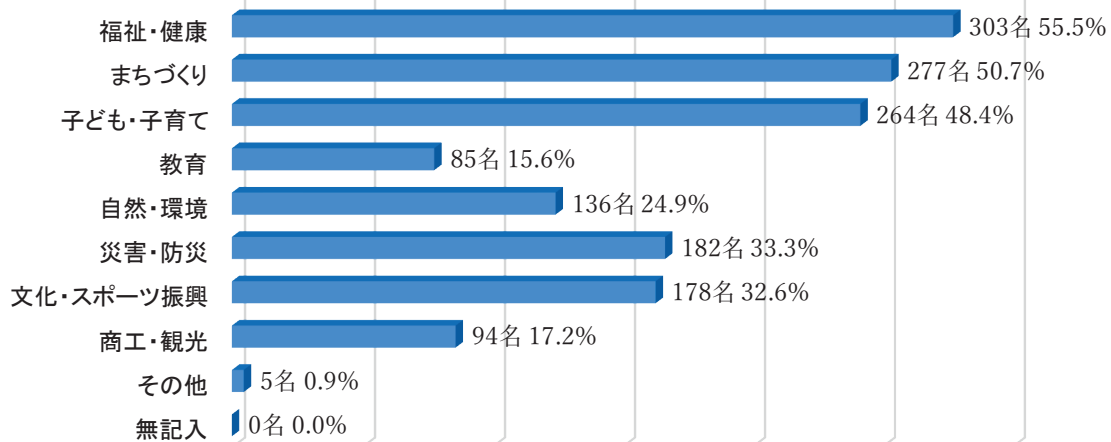
ひとりひとりの「働きたい」を叶え、誰にとっても「働きやすい」「働きがいのある」職場環境を整えることが求められています。

4 市民公益活動団体について

問 19 石巻市で活動する市民公益活動団体(NPO等)を知っていますか。
1つ選んでください。



問 20 問 19 で「1. はい」と回答した方にお聞きします。あなたが知っている団体の活動分野は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。



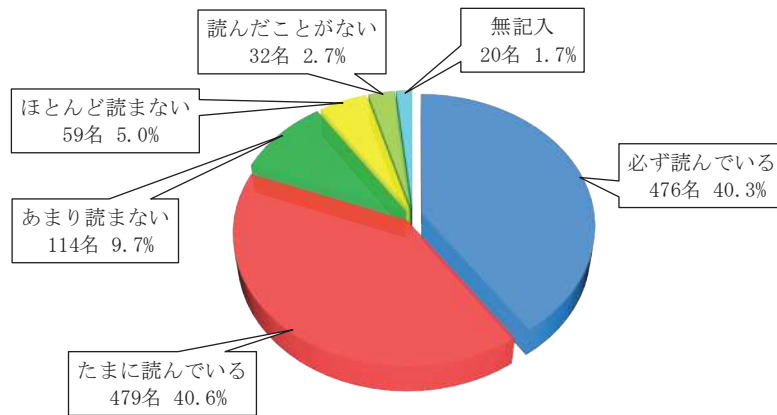
「市民公益活動団体を知っていますか」という問いに対して、回答者の50%が「いいえ」と回答し、市民の認知度が低いことが分かりました。また世代別にみても、60代、70代を除いた多くの世代では「いいえ」の比率が半数を超えることが分かりました。

また、知っている団体の活動分野について聞いたところ、「福祉・健康」「まちづくり」「子ども・子育て」の3分野について、半数前後の回答者が認知しているものの、「教育」「商工・観光」の認知度が10%台に留まっており、分野によって大きな偏りが出ていることが認められました。

NPO等の市民公益活動団体は、市及び市民が協働する相手先の一つであり、今後もより市民と連携した活動を推進していくことが大切であることから、市民公益活動団体の認知度・理解度の向上を図っていく必要があると考えます。

5 市の広報活動について

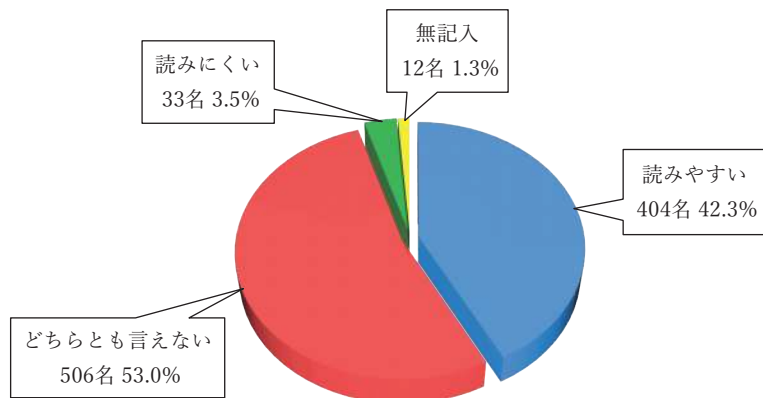
問 21 「市報いしのまき」を読んでいますか。1つ選んでください。



「必ず読んでいる」「たまに読んでいる」が全体の80.9%であり、多くの市民が市政への関心があり、市報から積極的に情報を得ている事が分かります。

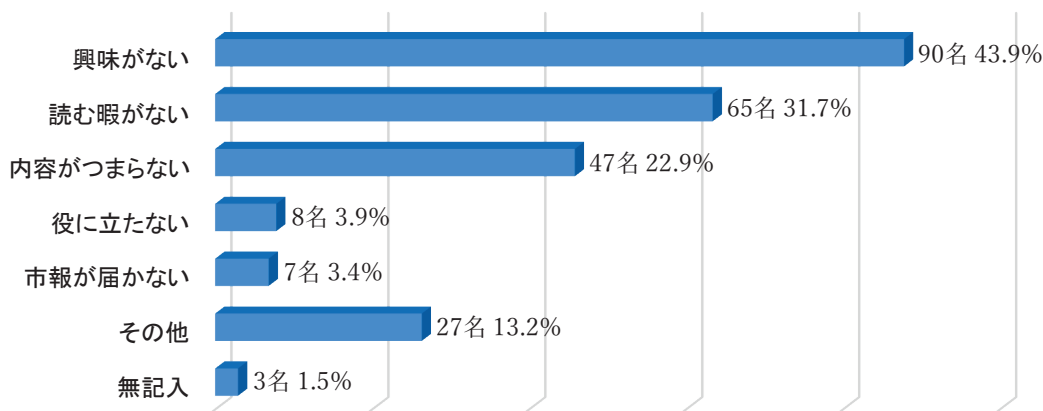
しかし、「あまり読まない」「ほとんど読まない」「読んだことがない」が全体の17.4%である事から、より一層市政への関心が高まるような紙面づくりを行っていきます。

問 22 問 21 で「1.必ず読んでいる」「2.たまに読んでいる」と回答した方にお聞きします。「市報いしのまき」は読みやすいですか。1つ選んでください。



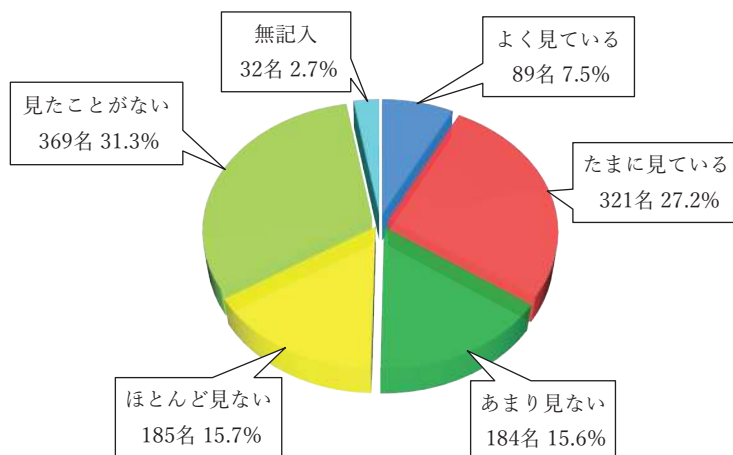
「読みやすい」が42.3%であり、「読みにくい」の3.5%を大きく上回っているものの、「どちらとも言えない」が53.0%と半数を超えていることから、より読みやすく、分かりやすい紙面づくりを行っていきます。

問 23 問 21 で「3. あまり読まない」「4. ほとんど読まない」「5. 読んだことがない」と回答した方にお聞きします。
その理由はなんですか。当てはまるものを全て選んでください。



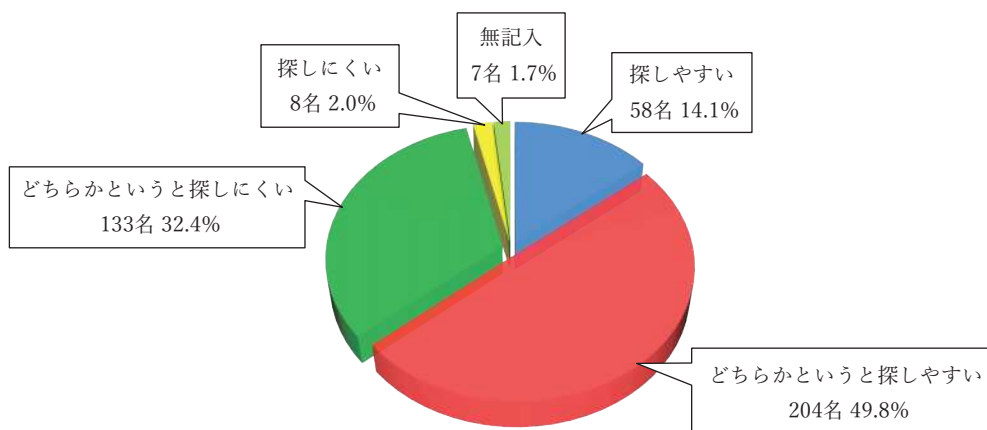
「興味がない」「読む暇がない」「内容がつまらない」と続くことから、短時間で、魅力ある情報が得られるような、市民の興味を引く紙面づくりを行っていきます。

問 24 「市ホームページ」をご覧になったことはありますか。1つ選んでください。



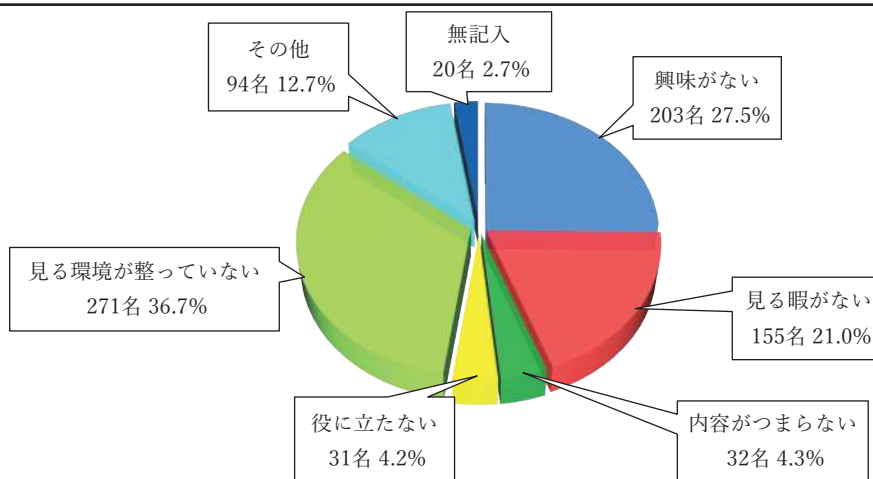
「あまり見ない」「ほとんど見ない」「見たことがない」が全体の 62.6%であることから、市ホームページをご覧いただけるような周知を市報やフェイスブックなどにより、行っていきます。

問 25 問 24 で「1. よく見ている」「2. たまに見ている」と回答した方にお聞きします。情報は探しやすいですか。1つ選んでください。



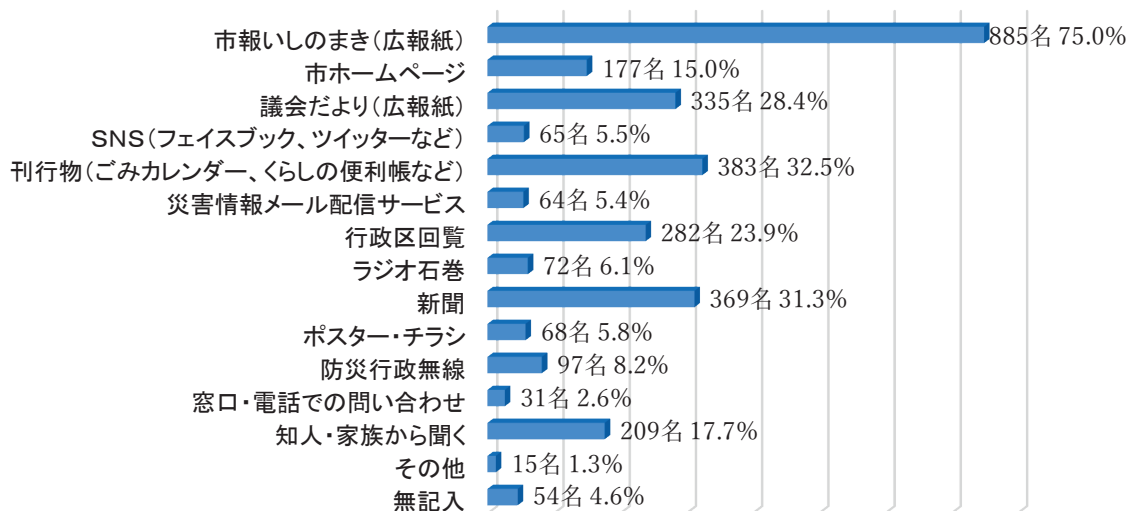
「探しやすい」「どちらかというとなんか探しやすい」が全体の 63.9%と半数を超えており、一定の評価を得ておりますが、さらに情報を探しやすくなるように市ホームページの更新、改善を行ってまいります。

問 26 問 24 で「3. あまり見ない」「4. ほとんど見ない」「5. 見たことがない」と回答した方にお聞きします。その理由はなんですか。当てはまるものを全て選んでください。



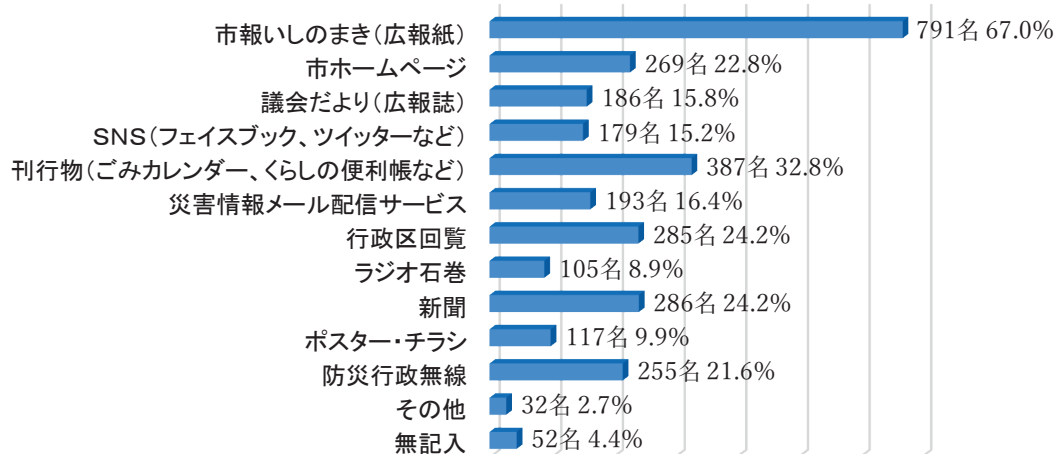
「見る環境が整っていない」が最も多い結果ですが、「興味がない」「見る暇がない」が続くことから、たくさんの市民から市ホームページを閲覧していただけるよう、利用しやすい良質なウェブコンテンツの作成を行ってまいります。

問 27 市政に関する情報は、どのような方法で入手していますか。
当てはまるものを3つまで選んでください。



最も多いのが「市報いしのまき (75.0%)」で、続いて「刊行物 (32.5%)」「新聞 (31.3%)」「議会だより (28.4%)」「行政区回覧 (23.9%)」となっており、紙媒体により市政に関する情報が入手されていることから、市報や刊行物などによる市政に関する情報発信の充実を図ります。

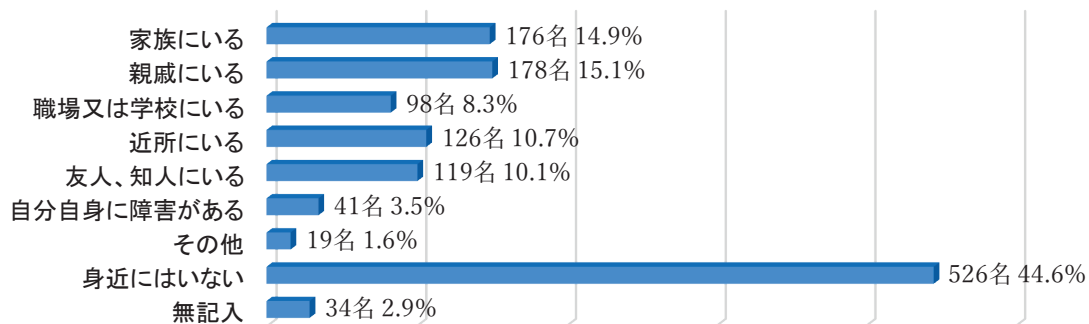
問 28 今後、力を入れてほしい情報発信の方法は何ですか。
当てはまるものを3つまで選んでください。



多い結果から順に「市報いしのまき (67.0%)」「刊行物 (32.8%)」「新聞 (24.2%)」「行政区回覧 (24.2%)」「市ホームページ (22.8%)」となっており、紙媒体と併せて電子媒体での情報発信が期待されていることから、両媒体の市政に関する情報発信力の強化を図ります。

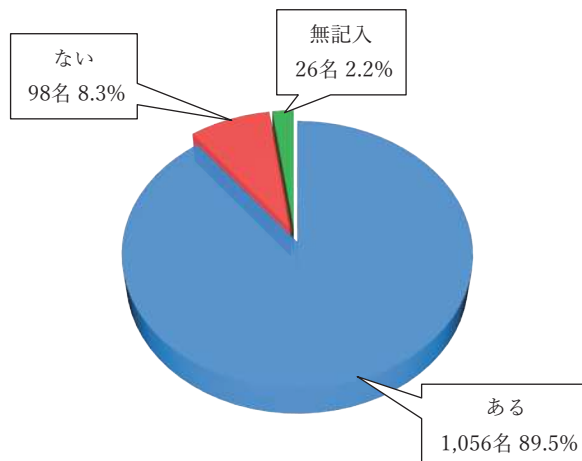
6 障害者福祉について

問 29 あなたの身近に障害のある人はいますか。(複数回答可)



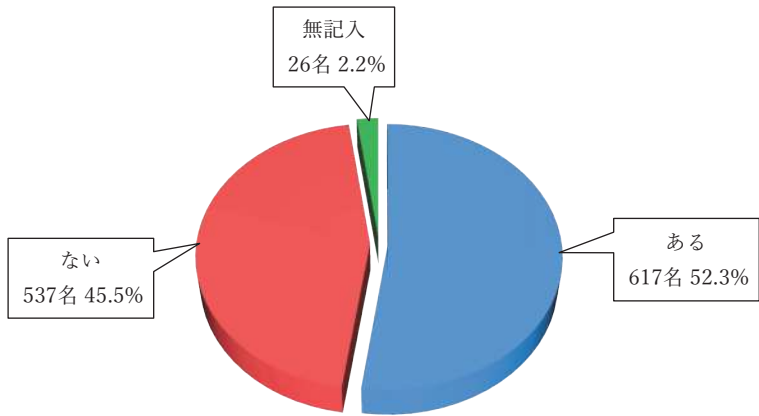
「身近にはいない (44.6%)」がもっとも多く、次いで「親戚にいる (15.1%)」、「家族にいる (14.9%)」となっています。「職場又は学校にいる (8.3%)」、「近所にいる (10.7%)」、「友人、知人にいる (10.1%)」がそれぞれ1割程度であり、日常的に障害のある人と接する機会が少ない人が多いと考えられます。

問 30 あなたは街で障害のある人を見かけたことがありますか。1つ選んでください。

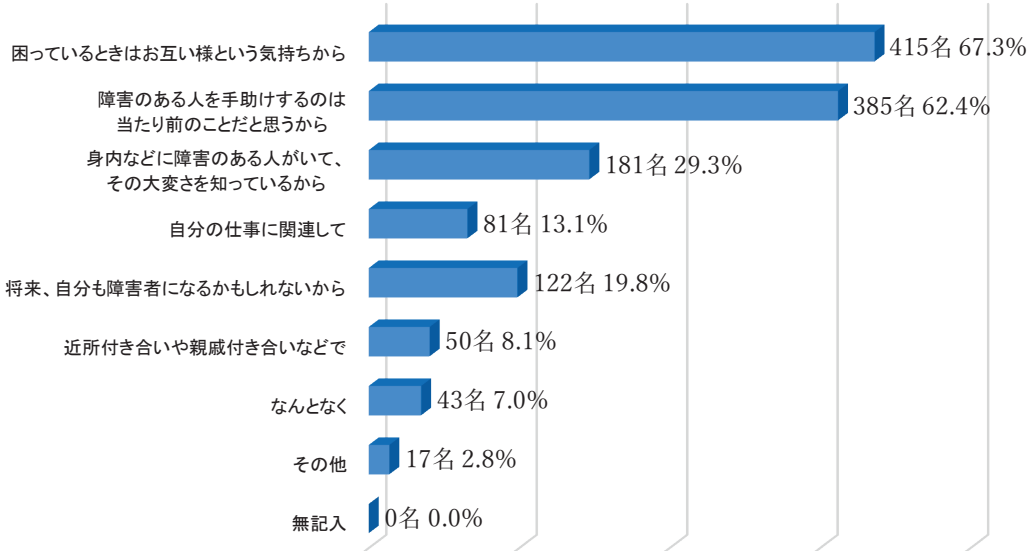


「ある」(89.5%)の回答が9割近くあり、街で障害のある方を見かけることが多いことがうかがえます。

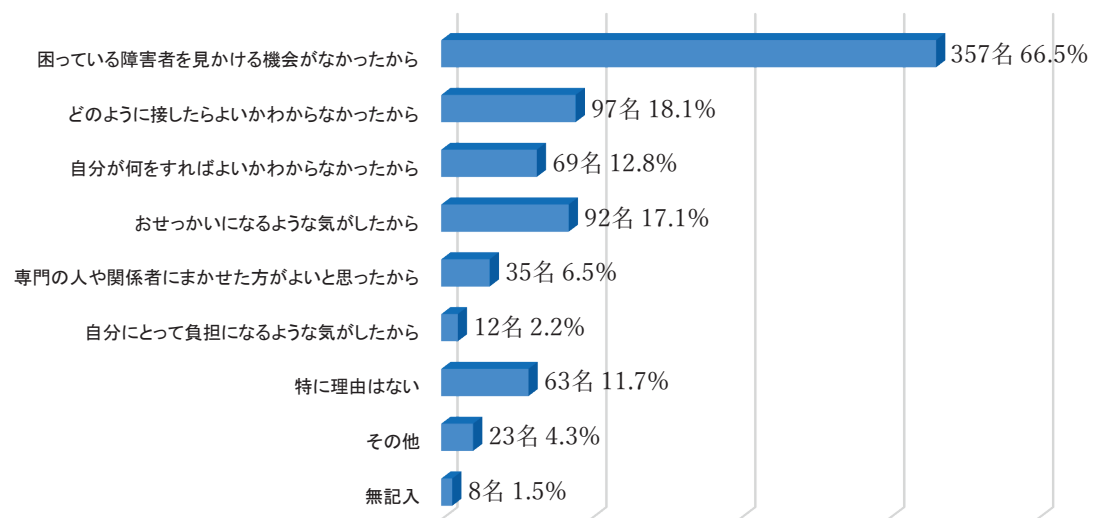
問 31 あなたは、障害のある人が困っているときに手助けをしたことがありますか。
1つ選んでください。



問 31-1 問 31 で「ある」と回答した方にお聞きします。
それはどのような気持ちからでしょうか。(複数回答可)



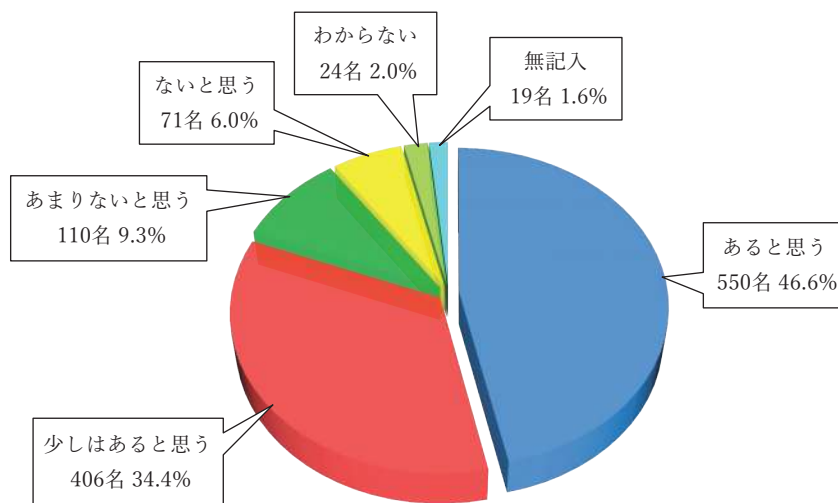
問 31-2 問 31 で「ない」と回答した方にお聞きします。
なかったのはどうしてでしょうか。(複数回答可)



障害のある人が困っているときに手助けをしたことがあるかについては、「ある (52.3%)」と回答した方が、半数を超えており、その理由として、「困っているときはお互い様という気持ちから (67.3%)」、「障害のある人を手助けするのは当たり前のことだと思うから (62.4%)」という回答の割合が高くなっています。

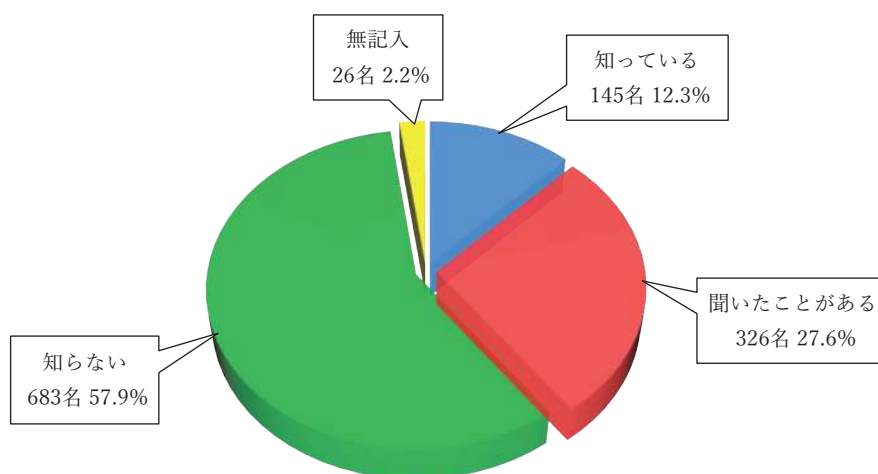
「ない (45.5%)」の理由としては、「困っている障害者を見かける機会がなかったから (66.5%)」がもっとも多く、次いで、「どのように接したらよいかわからない (18.1%)」、「おせっかいになるような気がしたから (17.1%)」と続いています。

問 32 あなたは、世の中には障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。1つ選んでください。



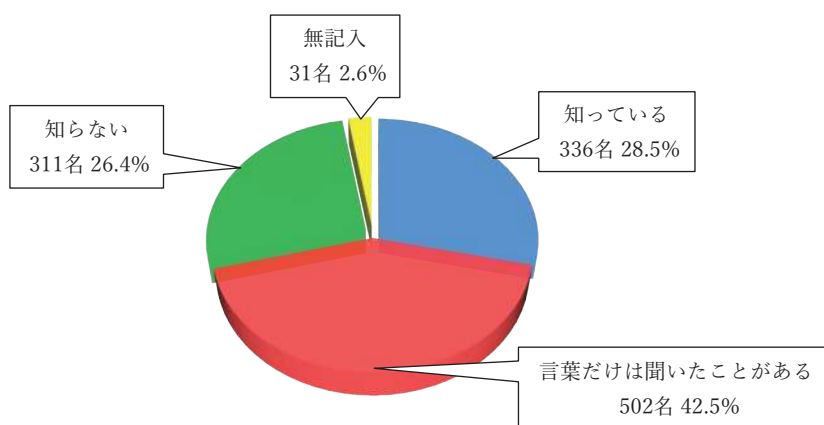
「あると思う (46.6%)」と「少しはあると思う (34.4%)」を合わせると8割の方が、障害のある人に対して差別や偏見がある世の中であると感じていると回答しています。

問 33 障害を理由とする差別を解消するために制定された「障害者差別解消法」を知っていますか。1つ選んでください。



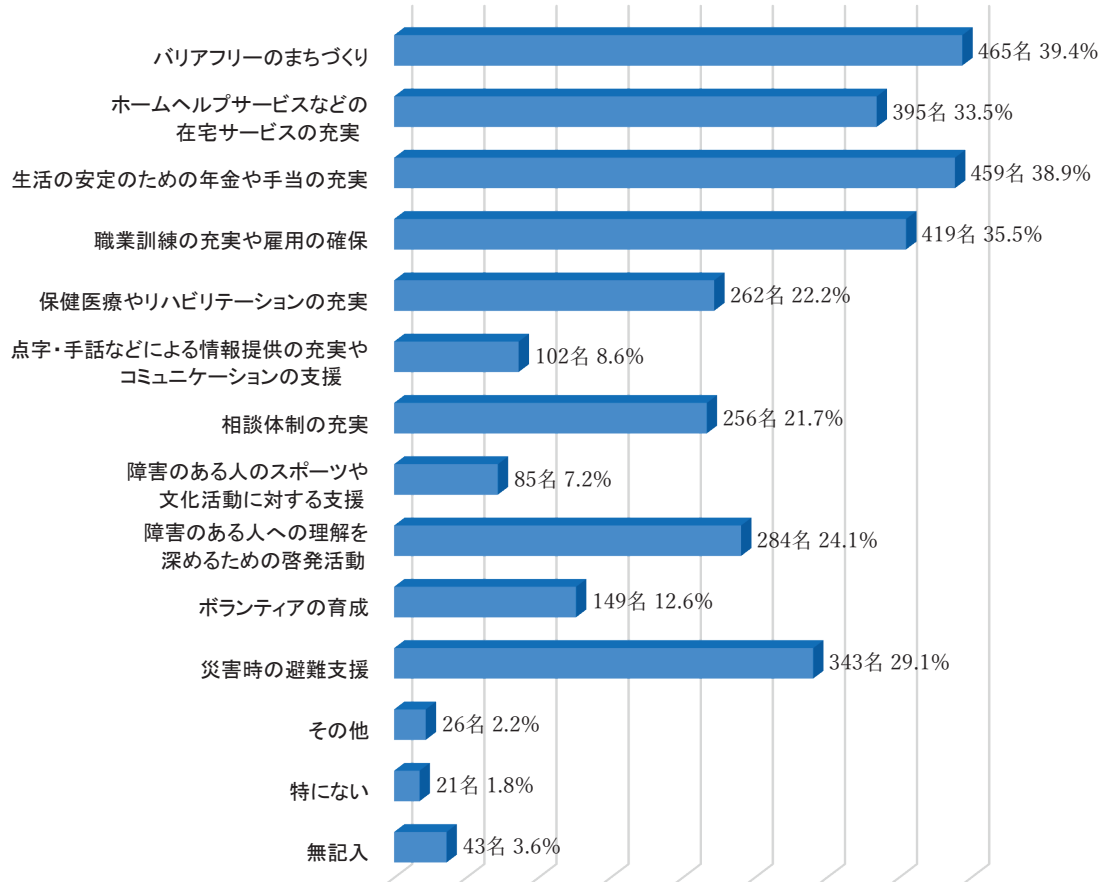
「知らない (57.9%)」と回答した方が、半数を超えており、「知っている (12.3%)」は1割程度となっており、法律の施行から4年が経過していますが、障害者差別解消法の認知度が低いことがわかります。障害者差別解消法の趣旨や重要性について、さらに啓発を図っていく必要があると考えます。

問 34 あなたは、障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。1つ選んでください。



「言葉だけは聞いたことがある (42.5%)」がもっとも多く、考え方を「知っている」は、28.5%にとどまっています。内容も言葉も聞いたことがない方は、「知らない (26.4%)」という結果となりました。共生社会の実現のためには、障害がある人もない人も互いに人格と個性を尊重し合い、支えあいながら暮らしていくという考え方を浸透させていくことが重要であると考えます。

問 35 特にどのような障害者施策を充実すべきだと思いますか。当てはまると思うもの3つまで選んでください。

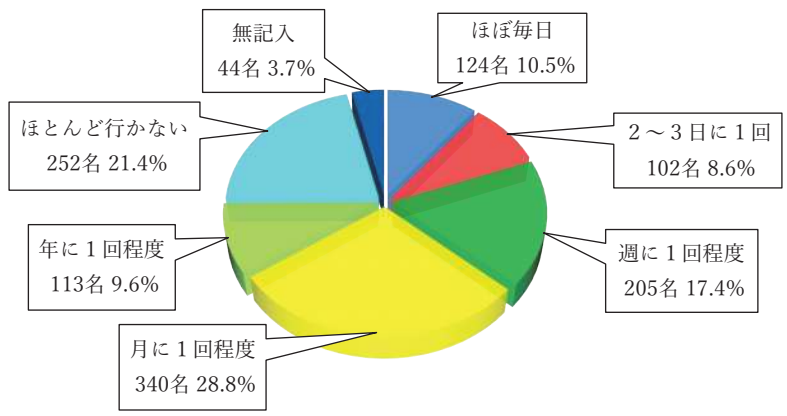


すべての施策について、充実すべきであると回答がありました。その中で、多かった施策は、「バリアフリーのまちづくり（39.4%）」ともっとも多く、次いで「生活の安定のための年金や手当の充実（38.9%）」、「職業訓練の充実や雇用の確保（35.5%）」「ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実（33.5%）」という結果となりました。

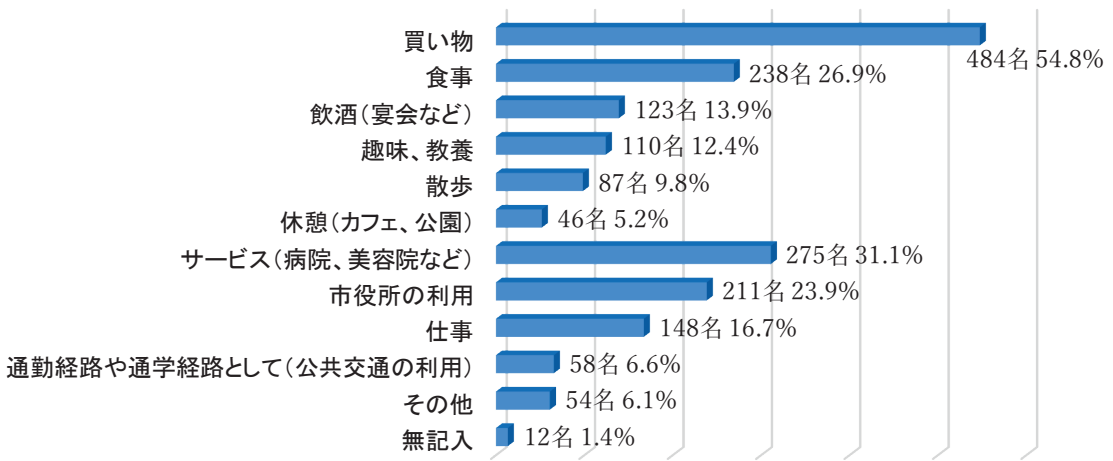
7 石巻市中心市街地活性化について

I 中心市街地の利用状況等について

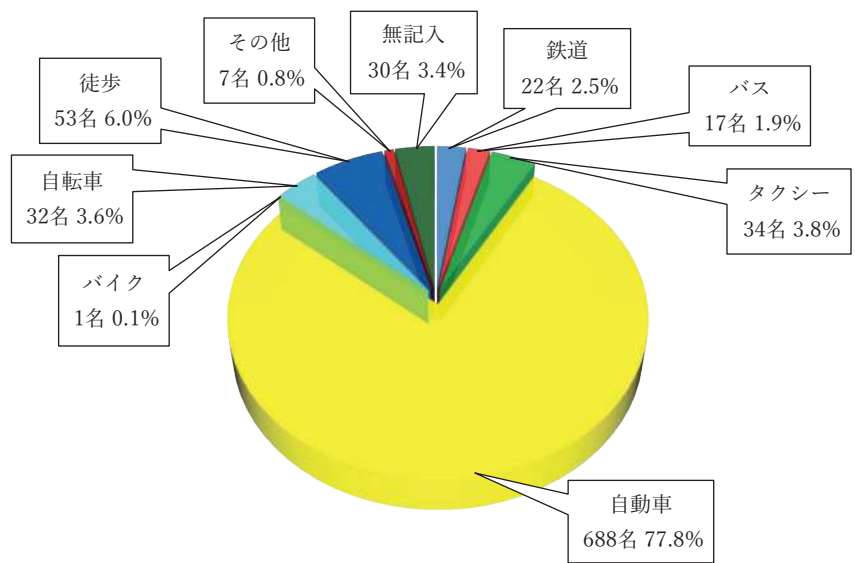
問 36 中心市街地へ出かける（利用する）頻度はどれくらいですか。
1つ選んでください。



問 37 どのような目的で中心市街地に出かけますか（利用しますか）。
当てはまるものを3つまで選んでください。



問 38 主にどのような交通手段で訪れていますか。1つ選んでください。



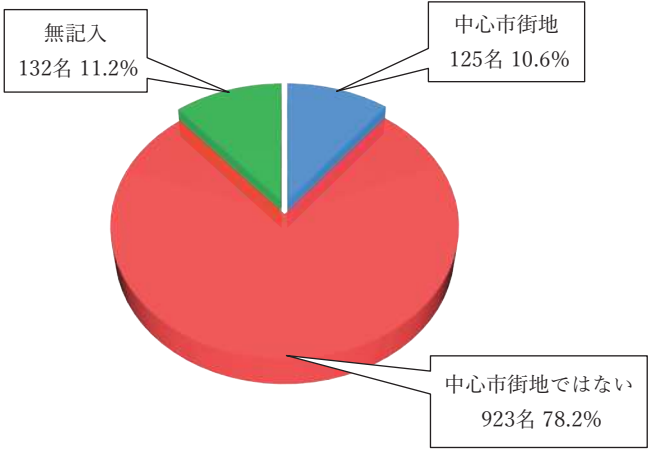
中心市街地へ出かける（利用する）頻度は、「月に1回程度」が28.8%で最も多く、次いで「ほとんど行かない」が21.4%となっております。前回調査（令和元年度）と比較すると「ほぼ毎日」「2～3日に1回」「週に1回程度」と回答した方の割合がすべて増加し、合計で5.8%増加していることから、中心市街地の利用者が少しずつ増えているものと推測できます。

中心市街地に出かける（利用する）目的は、「買い物」が54.8%で最も多く、次いで「サービス（病院・美容院など）」が31.1%、「食事」が26.9%となっております。

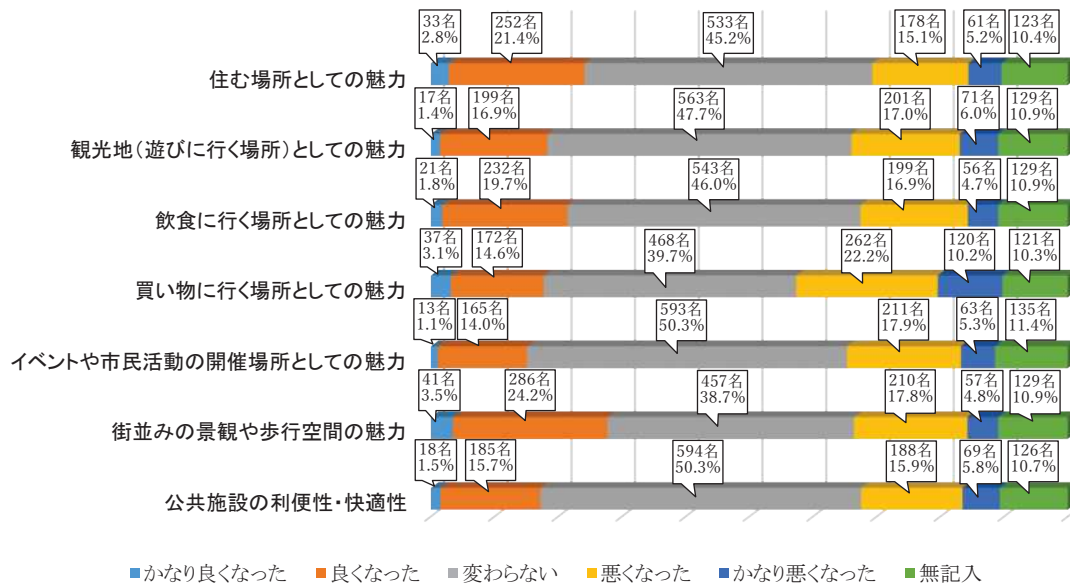
交通手段については、「自動車」が77.8%で突出して多い結果となっております。前回調査でも「自動車」が72.6%となっており、同様の傾向が続いているものと思われま。

II 中心市街地の活性化状況について

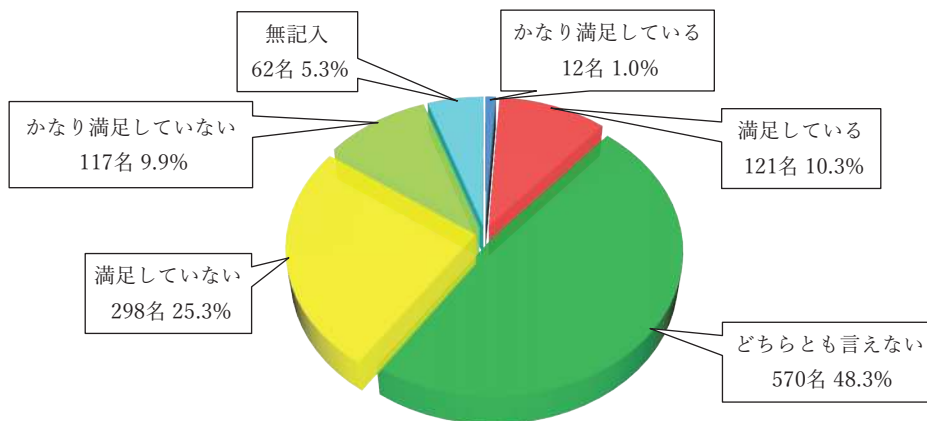
問 39 現在のお住まいはどちらですか。1つ選んでください。



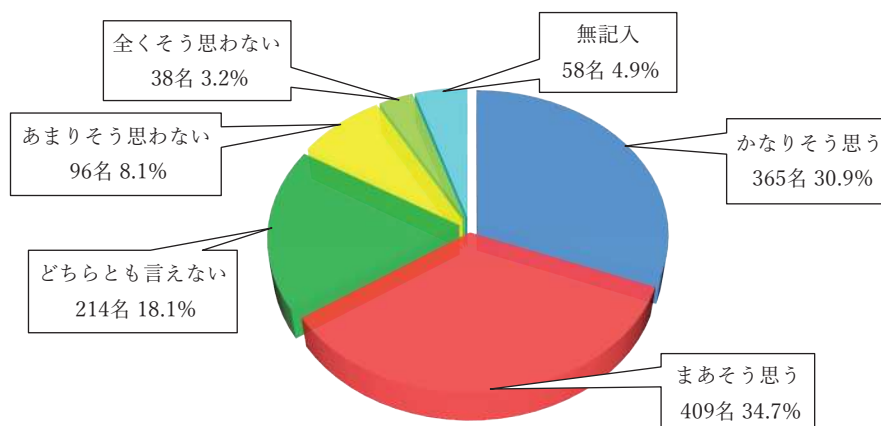
問 40 中心市街地の状況について、5年前と比較してどのように感じていますか。
(○は各項目につき1つだけ選んでください。)



問 41 現在の中心市街地の状況に、満足していますか。1つ選んでください。



問 42 中心市街地の活性化は、大切なことだと思いますか。1つ選んでください。



問 43 中心市街地の街づくりに望むものは何ですか。(自由記述)

【 抜 粋 】

- ・ 子供が遊べる場所をもっと作ってほしい。
- ・ イベント会場がどこにあるか7割方わからない、どこにあるか表示を周知すべし。
- ・ 文化施設の充実（食べ物屋・飲み屋ばかり）
- ・ 専門分野のお店が必要（個人）。道路を早く走りやすく。
- ・ 都市計画の総一性と、計画そのもののレベルの低さ。
- ・ 移動がとても大変です。（車がないと）利用者が少ない可能性があるともむずかしいかもしれませんが中心市街地を巡回するバスがあると助かります。それと歩道が整ってなくて歩きにくいです。よく転びます。歩道のない道路も大変です。
- ・ もっと無料駐車場があると良い。仙石線と石巻線の接続悪いので、駅前で休めるお店が欲しい。
- ・ 時間を気にせず遊んでいitくなるような街ですね。マンガ館に行くにも駅をぬけてうろろと人々ができるお店、又人間性でしょうか。外から来た人に対してあたたかく向える気持があってほしいですね。
- ・ ①駐車場の無料化 ②休日にお店を休業している所が多い ③古い空き店舗を再利用するのに家賃を安くして若い起業者を支援する
- ・ 屋外で飲食もできるようなテラスのある店づくり（石巻は店の中に入りづらい、コロナ後の密にならない飲食コミュニティの場が必要）。歩いて楽しめる街づくり。写真ばえのするスポット。街全体が散歩コースになる。
- ・ 若い世代の活躍が目に見えて、とても良いと思う。まずは、”行ってみたい！！”と思えるような街にするために、若い人でも挑戦できるように、貸し出しテナントを増やすなど、挑戦できる街にする。街全体が大きなショッピングモールのような、商店街のような活気あふれる場所になると良い。
- ・ パーキング料金がなくてゆっくりできない。
- ・ ①ほとんどの駐車場を無料にする ②中心市街地すべての1階を無料駐車場にし、2階を商業スペースにする。住居は3階または郊外にするなどの抜本的な都市改革をする。 ③45号線から市立病院、市役所、社会福祉協議会事務所まで行く道路が狭くて、常に混雑し時間がかかるので、片側2車線の道路にして交通の利便性（＝時間短縮）を良くする。 ④中心市街地にアウトレットモールなど、集客力のある魅力的な商業施設を作る（特に衣類販売店がほとんどない）。 ⑤文化施設が少ない。音楽を聞ける大ホールや美術館などを作る。 ⑥スポーツ施設も少ない（市総合体育館だけ）。 ⑦昭和の時代にあった陶器店や時計店、本屋など魅力的な専門店を増やしてほしい。
- ・ 何を中心として魅力あるものとするか、石巻の他に対するアピールが必要。道路がわかりにくく、他からくると迷いがちになる。
- ・ いい街づくりをしてもそれを知られていないと意味がないので中心市街地以外の人もそれがわかるようにTVやニュースで伝えるコーナー等を設けるなどする。
- ・ 交通の利便性がとても重要でしょ 交通の不便性のせいで全て蛇田方面へ流れてる。
- ・ 商店街の課題を解決するのではなく、地域の課題を捉え、それらを解決するために商店街という空間の新たな役割・あり方を考え事業推進を図っていただきたい。

- ・古くても手入れのゆき届いた街並みを作って欲しい。旅行者の方が気軽に利用できる飲食店（ランチのお店、喫茶店）が少ない。個人経営が難しいのであれば、集客のあるイベント前～終了後数日間のポップアップショップなどがあると思います。立町、中央中心になっているので、その周辺も強みがあると良い。既にあるならばアピール、誘導を促すなにか。徒歩で回れる範囲は魅力的なエリアだと思います。
- ・昔からそこに住んでいる人や、土地等を持っている人達の市街地を良くしようとする思いや考え方。
- ・特に用事がなくてもとりあえず歩いてみたくなるようなウィンドウショッピング、ランチ、散歩でうろつけるような街なみ。学生（高校生とか）が下校時によりたくなるような街なみ。お店の充実。
- ・殿様商売をやめて欲しい。店に入りづらい。駐車場がせまい、道路が分かりづらい。料金がとられるなら行かなくて良いか、と思う。
- ・街の中での「多くのイベント」を開催することにより若者の流れを作るように、そして、その際には、2割引ぐらいの商品や食事を各店が提供できるよう努力をする。
- ・交通の便（主に道路の混雑回避）。子どもが安全かつ安価で遊べる場の増加。
- ・一方通行ばかりあるのが厳しい。道がせまい。有料パーキングが多い。店のパーキングがあってもせまい、どこにあるのかわからない。イベント時の駐車場。店の情報をもっとネットに上げてほしい（周辺案内も）。車が混む。

回答者の居住地は「中心市街地」が10.6%、「中心市街地ではない」が78.2%、「無記入」が11.2%でした。

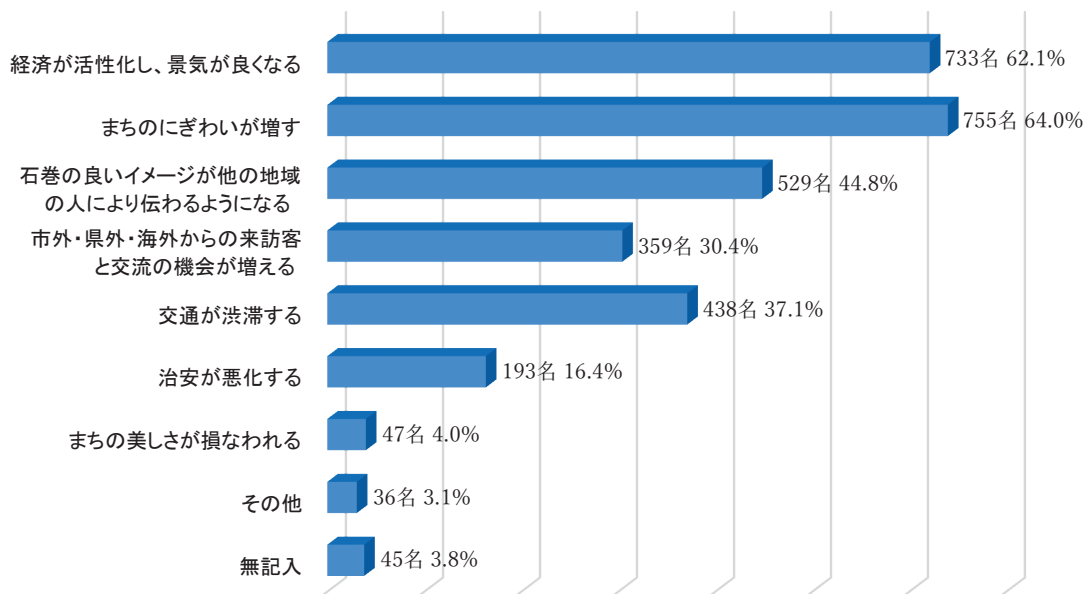
5年前と比較した中心市街地の状況については、「街並みの景観や歩行空間の魅力」について良くなったと答えた方が多く（計27.7%）、復興事業による街並みの整備の効果が表れているものと思われます。しかし、「買い物に行く場所としての魅力」については悪くなったと答えた方が多く（計32.4%）、商店街の衰退や、郊外型大型店舗の進出による相対的な魅力の減少が影響しているものと思われます。

現在の中心市街地の状況に満足しているかについては、「かなり満足している」「満足している」と答えた方が合計で11.3%である一方、「かなり満足していない」「満足していない」と答えた方が合計で35.2%となっております。また、中心市街地活性化は大切なことと思うかという問いについては、「かなりそう思う」「まあそう思う」の合計が65.6%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の合計が11.3%となっており、これら2点の結果から、より一層の中心市街地活性化施策の必要性が示されています。

問43「中心市街地の街づくりに望むもの」の自由記述では、昨年度の388件を大きく上回る456件のご意見をいただいております。一方通行の解消や無料駐車場の設置など交通便利性に係る意見が最も多く、若者が利用する施設や環境の整備、スーパー等の買い物利便性の向上、商店やイベントの情報発信、蛇田エリアとの差別化（中心市街地を移すことの検討）などについてのご意見を多くいただきました。

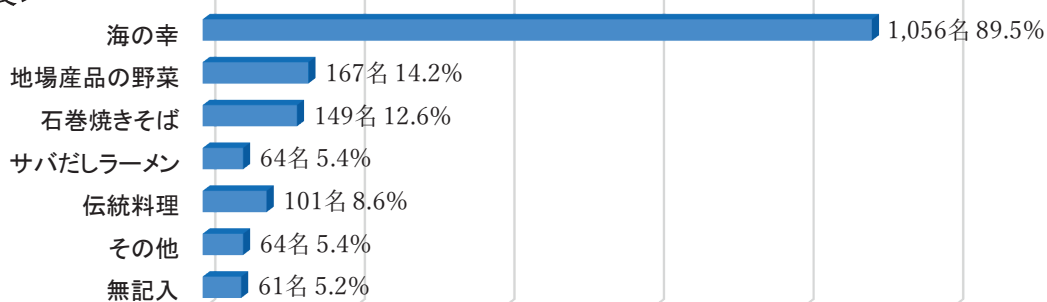
8 観光に関する意識について

問 44 観光客が石巻に多く訪れるようになることで、あなたの生活に変化があるとしたらどのようなことが思い浮かびますか。当てはまるもの全てを選んでください。

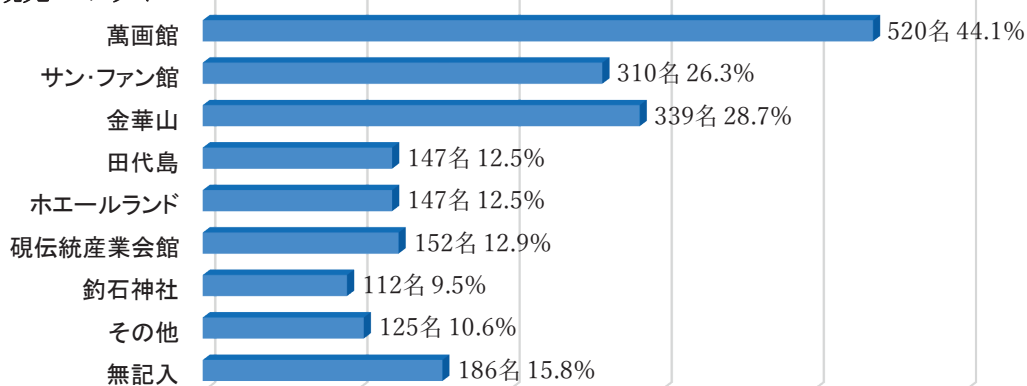


問 45 あなたは、市外からあなたの友人や知人が訪ねてきたら、石巻の何をおすすめしますか。当てはまるもの全てを選んでください。

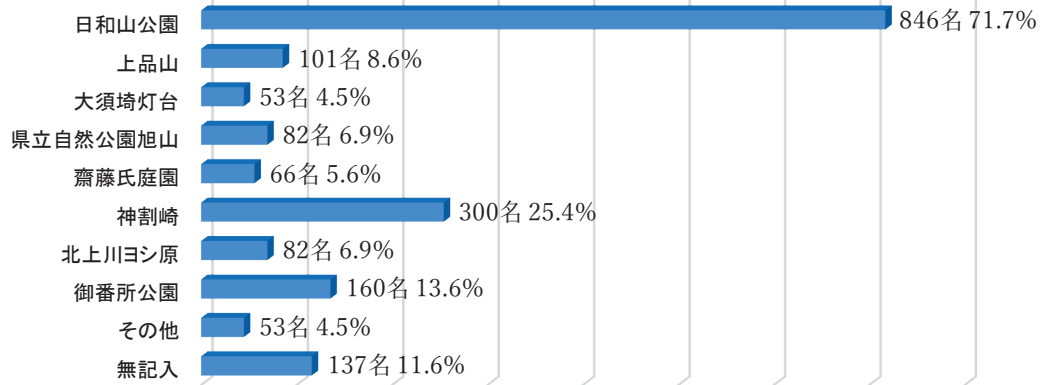
<食>



<観光スポット>



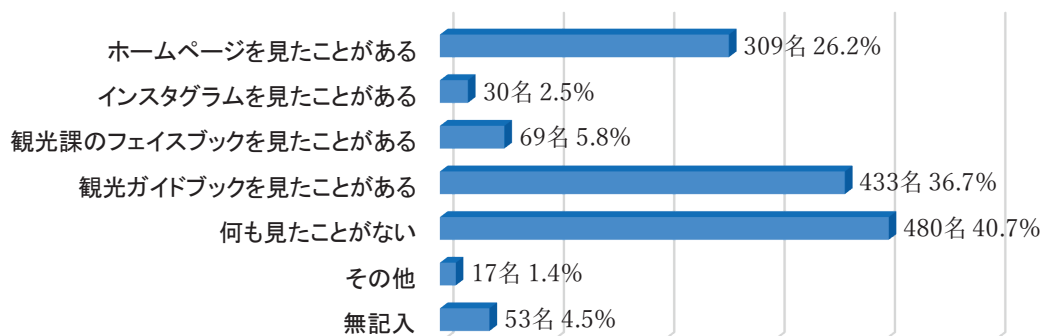
<自然・景観>



観光客が多く訪れることにより、経済の活性化、にぎわいが増すなど好意的な印象を思い浮かべる市民が多く、市外からの友人、知人におすすめするものとして、「食」では「海の幸」が89.5%と最も多く、「観光スポット」では「萬画館」、「自然・景観」では「日和山公園」が多い結果となりました。一方、自由記述欄では、観光客が多く訪れることにより新型コロナウイルス感染拡大を不安に思っている声が多くあり、また、おすすめの「食」では「笹かま」、「観光スポット」では「いしのまき元気いちば」「網地島」との記述が多くありました。

石巻の何をおすすめするかについてはイメージ、知名度が高いものをおすすめする結果となりましたが、今後も多様な本市の観光コンテンツを磨き上げ、市民の方にも再認識していただけることが重要となります。

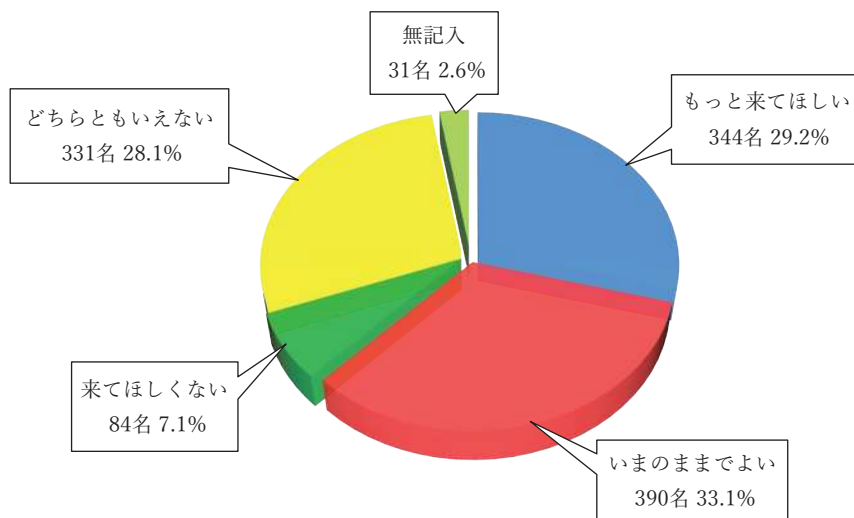
問 46 あなたは、石巻市の観光情報について、ホームページやSNS等をご覧になったことがありますか。当てはまるものすべてを選んでください。



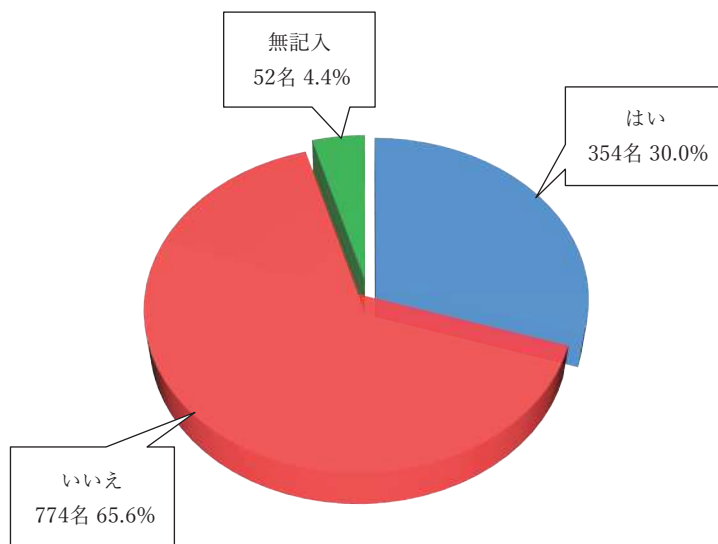
市の観光情報について、「何も見たことがない」が40.7%で最も多く、「観光ガイドブック」が36.7%、「ホームページ」が26.2%となりました。

自分の住んでいる市の観光に関心が低い結果となりましたが、本市の豊かな観光資源、情報を広く周知するため、SNSの活用など効果的な情報発信に取り組んでいくことが重要となります。

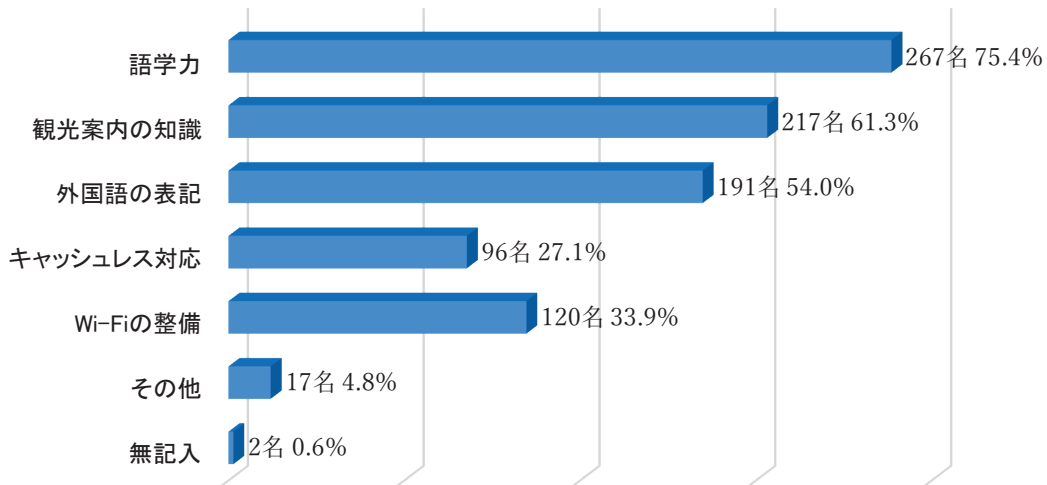
問 47 あなたは、今より多くの外国人観光客に石巻に来てほしいと思いますか。
1つ選んでください。



問 48 あなたは、あなた自身が市外より訪れた外国人観光客をおもてなししたいと思いますか。1つ選んでください。



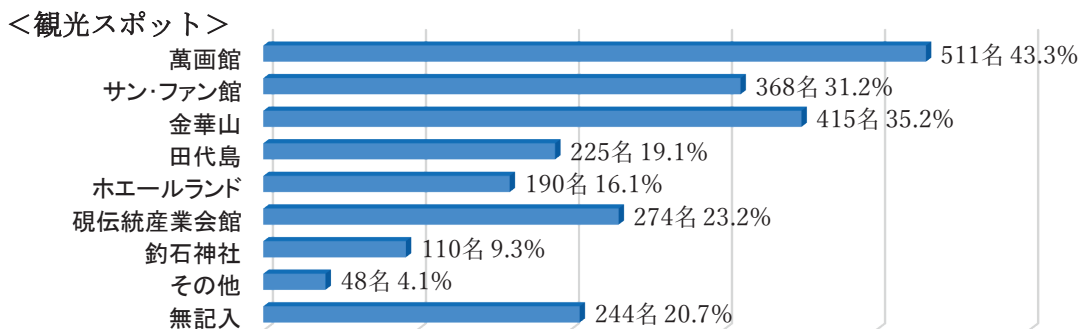
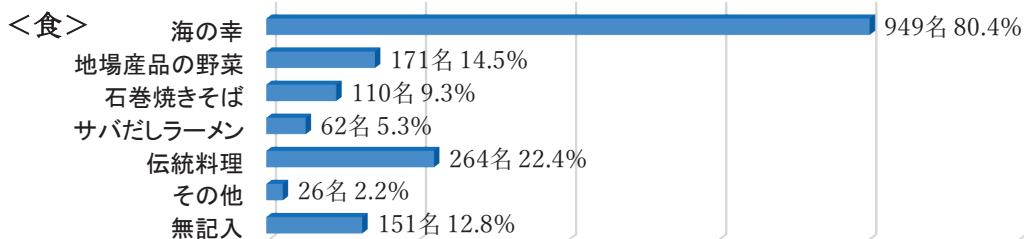
問 48-1 問 48 で「1. はい」を選択した方にお聞きします。そのおもてなしに必要なと思うことは何ですか。当てはまるものを全て選んでください。



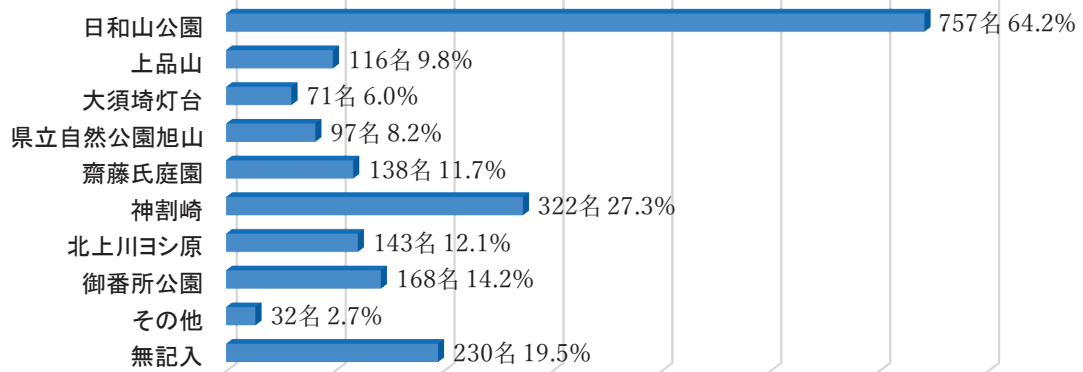
「今より多くの外国人観光客に来てほしいと思っている」が 29.2%、「外国人観光客をおもてなししたい」が 30%といずれも過半数を下回りました。

おもてなしには、語学力、観光案内の知識が必要との回答が多く、対応に対しての不安が現れたものだと考えられます。研修会やセミナー等を通じ、受け入れ態勢の整備、おもてなし気運の醸成や外国語表記の推進が重要となります。

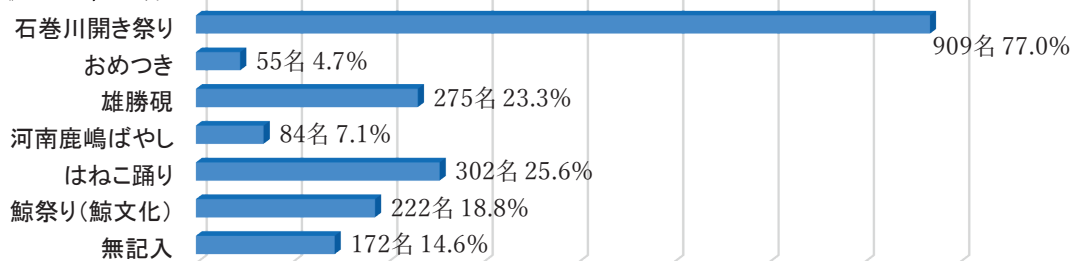
問 48-2 外国人観光客に対して、石巻のどのようなところが魅力・強みになると思いますか。又はどんなものを観光資源として発信していく必要があると思いますか。当てはまるものを全て選んでください。



<自然・景観>



<伝統・文化・祭り>



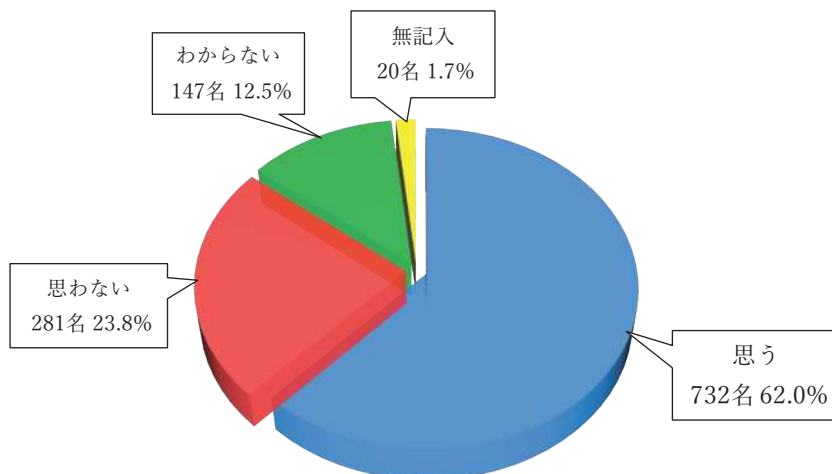
外国人観光客に対する本市の魅力、強みについて、「食」では「海の幸」が最も高く、「観光スポット」では「萬画館」、「金華山」、「サン・ファン館」、「自然・景観」では「日和山公園」が高く、問 45 の友人・知人へのおすすめと同様の結果となりました。自由記述欄では、震災遺構との記述が多くありました。

市民が考える本市の強みを磨き上げ、外国人観光客のニーズに対応できるよう地域全体で取り組んでいくことが重要となります。

9 石巻市の環境について

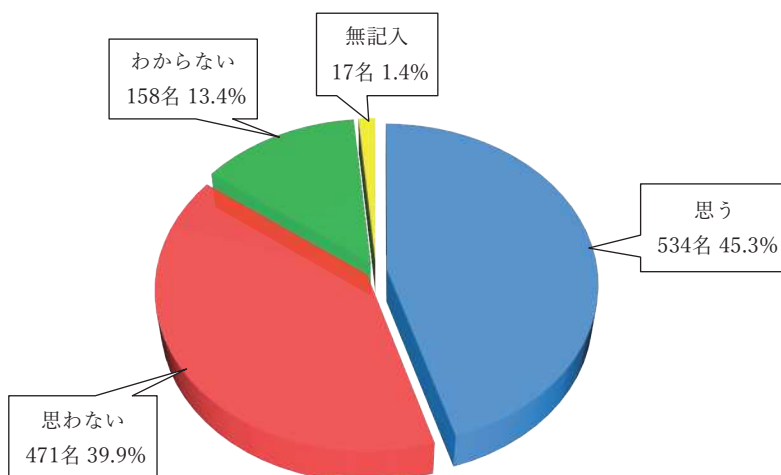
I 自分が住んでいる地域の環境について

問 49 多くの自然や生物に恵まれていると思いますか。1つ選んでください。



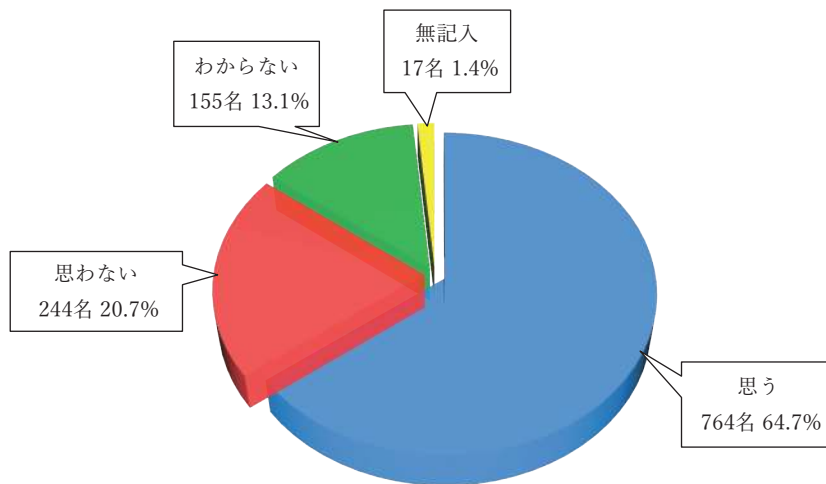
多くの自然や生物に恵まれていると思う市民が多い結果となりました。
本市は海、山、川など豊かな自然に囲まれ、そこには多種多様な生物が生息・生育していることから、これらを地域の財産として後世に引き継いでいくため、人の暮らしと自然が調和する地域づくりに取り組んでいく必要があります。

問 50 公園や道路、宅地などの緑が豊かだと思いますか。1つ選んでください。



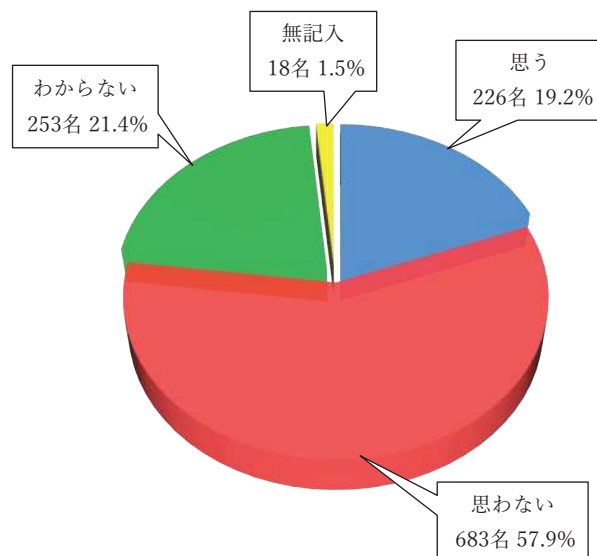
公園や道路、宅地などの緑が豊かだと思う市民が半数近くとなりました。
宅地開発や道路整備を進める際には緑化に配慮し、自然環境を保全しながら実施することが求められ、身近に緑とふれあえる環境を創出していく必要があります。

問 51 田や畑の農地の緑が豊かだと思えますか。1つ選んでください。



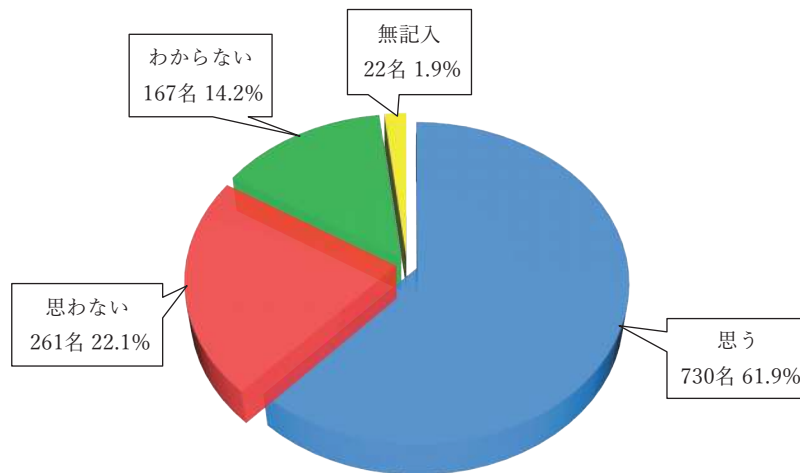
田や畑の農地の緑が豊かだと思っている市民が多い結果となりました。
自然と調和した良好な景観はふるさとの誇り、そして地域の魅力であることから、その保全や創出に取り組んでいく必要があります。

問 52 街並みの美しいところだと思えますか。1つ選んでください。



街並みの美しいところだと思わない市民が多い結果となりました。
魅力あるまちづくりに向けて、地域の景観に目を向け、自然や文化、歴史などを学び、体験しながら、地域特性を活かした景観の形成を推進し、魅力あるまちづくりを推進していく必要があります。

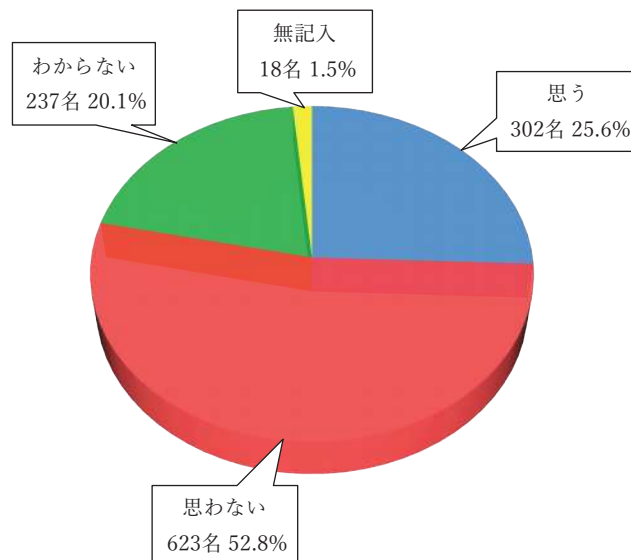
問 53 空気がきれいだと思いますか。1つ選んでください。



空気がきれいだと思っている市民が多い結果となりました。

市民ひとりひとりが健康な生活を送るために、大気を安全な状態に保つことが必要不可欠です。そのため、日常生活を取り巻く環境について、市民が安心して暮らすことのできる良好な状態の維持に向け「環境負荷の低減」に取り組んでいく必要があります。

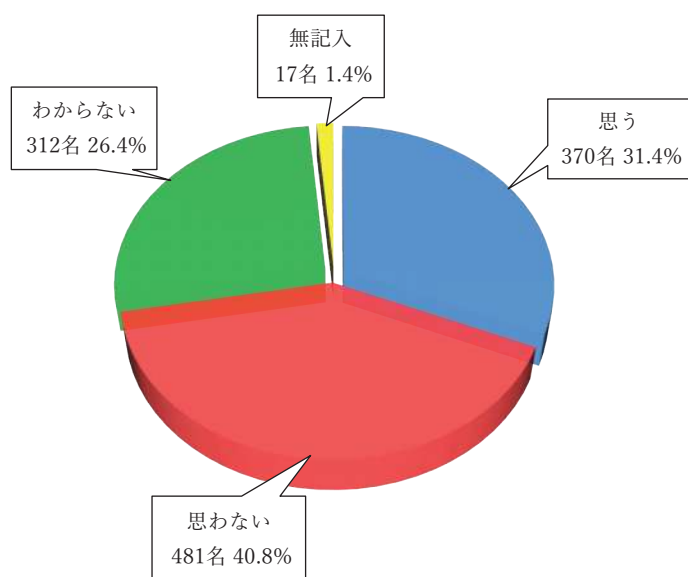
問 54 河川の水がきれいだと思いますか。1つ選んでください。



河川の水がきれいだと思わない市民が半数を超える結果となりました。

河川の汚濁は結果として海洋汚染にもつながるため、水環境の監視を行いながら安全で清らかな水の確保に向けて取り組んでいく必要があります。

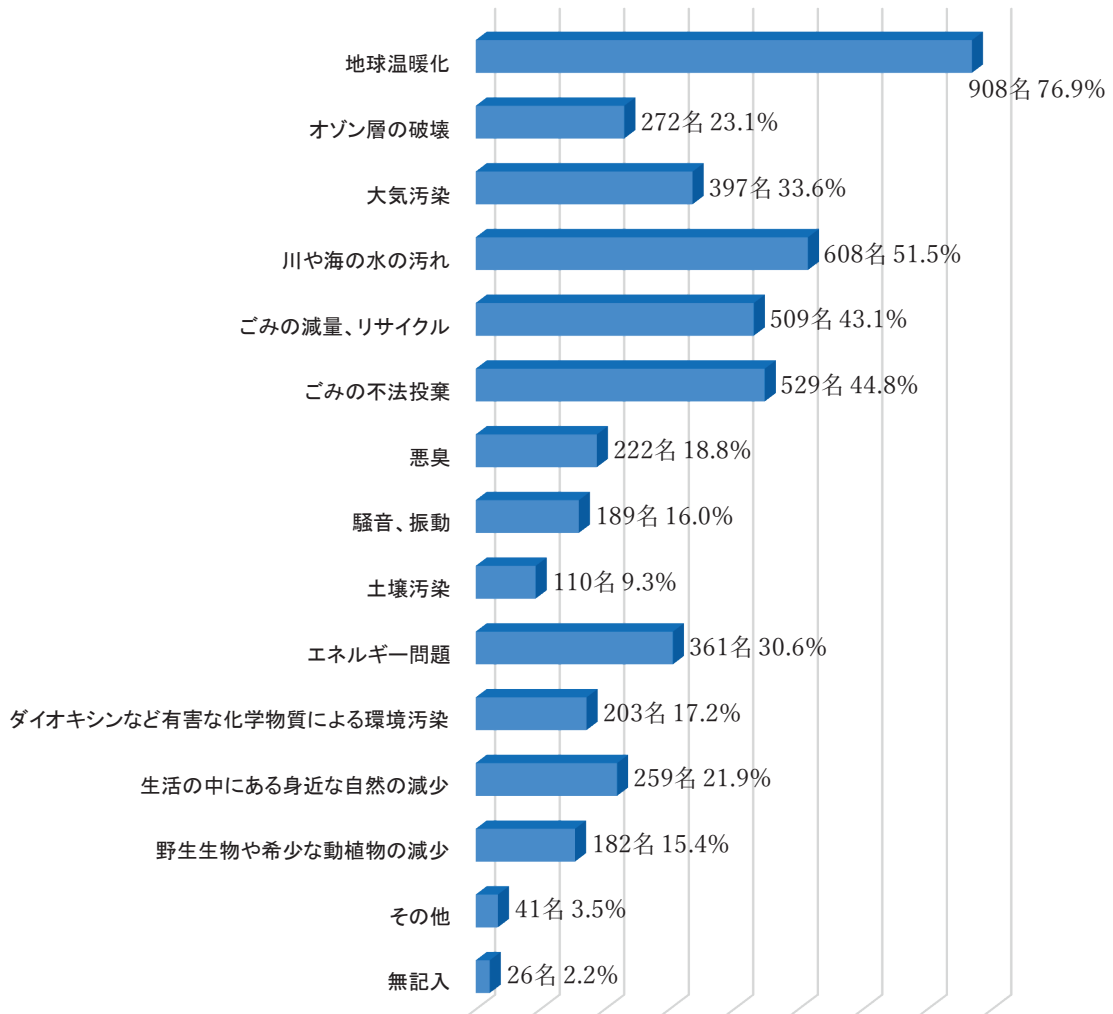
問 55 海の水がきれいだと思いますか。1つ選んでください。



海の水がきれいだと思わない市民が多い結果となりました。
海の汚濁を防止するために、水環境の監視を行うとともに、水質汚濁防止に関し普及・啓発を推進していく必要があります。

II 関心のある環境問題について

問 56 あなたが関心のある環境問題を選んでください。(複数回答可)



環境問題については、特に地球温暖化や川や海の水の汚れ、ごみの問題に関心を持っている市民が多い結果となりましたが、すべての項目において前年度調査よりも比率が高くなっており、環境問題について幅広く関心が持たれ、意識が高くなってきていることが分かります。

私たちは、これらの環境問題の被害者でもあり加害者でもあることから、ひとりひとりが環境問題について正しい知識を持ち、正しく行動する「環境市民」として生活していくことが強く求められます。